

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ



実行委員会



第18回常任委員会



つむぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会



第26回全国障害者スポーツ大会

令和8年2月4日（水）

宮崎観光ホテル東館3階 「緋耀の間」

目 次

報 告

報告事項 1	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 実行委員会常任委員会委員の変更	・ ・ ・ ・ ・ P1
報告事項 2	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 準備経過	・ ・ ・ ・ ・ P2
報告事項 3	各専門委員会の審議結果	・ ・ ・ ・ ・ P8
報告事項 4	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ メダルデザイン及び炬火トーチデザインの最優秀賞受賞者の決定	P69
報告事項 5	日本のひなた宮崎 障スポ 特別支援学校等アートコンテストについて	・ ・ ・ ・ ・ P70
報告事項 6	日本のひなた宮崎 障スポ 選手団サポーター養成協力校委嘱について	・ ・ ・ ・ ・ P71

議 事

第 1 号議案	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 式典実施計画（案）	・ ・ ・ ・ ・ P72
第 2 号議案	第 8 1 回国民スポーツ大会 本大会実施要項総則（案）	・ ・ ・ ・ P74
第 3 号議案	日本のひなた宮崎 国スポ 競技会会期変更（案）	・ ・ ・ ・ ・ P94
第 4 号議案	日本のひなた宮崎 障スポ 競技別会期（案）	・ ・ ・ ・ ・ P100
第 5 号議案	日本のひなた宮崎 障スポ 正式競技・オープン競技開催予定施設の変更（案）	・ ・ ・ ・ P101

報 告

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ
実行委員会常任委員会委員の変更

第17回常任委員会以降の委員の変更については、以下のとおりである。

○ 常任委員（3名）

所属機関・団体名及び役職	新任者	前任者
宮崎県警察本部長	高井 良浩	平居 秀一
宮崎県町村議会議長会会長	松浦 光宏	坂本 弘明
公益社団法人日本青年会議所 九州地区宮崎ブロック協議会会長	河野 宏輝	吉行 輝真

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ準備経過

年 月 日	内 容
平成27年 1月14日	公益財団法人宮崎県体育協会（以下「県体協」という。）臨時理事会及び評議員会において、「平成38年第81回国民体育大会の宮崎県開催招致」を決議
2月12日	県体協が県、県議会及び県教育委員会に「平成38年第81回国民体育大会の宮崎県開催招致要望書」を提出
2月25日	知事が県議会2月定例会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致」を表明
3月13日	県議会2月定例会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を全会一致で議決
3月16日	定例教育委員会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を議決
4月17日	知事が文部科学省に「平成38年第81回国民体育大会開催要望書」と「平成38年第26回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出 知事が公益財団法人日本体育協会（以下「日体協」という。）に「平成38年第81回国民体育大会開催要望書」を、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会に「平成38年第26回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出
6月11日	日体協第1回国体委員会において、「平成38年第81回国民体育大会開催申請書提出順序了解県」として承認
7月22日	日体協第3回理事会において、「平成38年第81回国民体育大会開催申請書提出県」として了解（宮崎県開催が内々定）
平成29年10月30日	第81回国民体育大会宮崎県準備委員会設立総会・第1回総会及び第1回常任委員会を開催
11月14日	第1回総務企画専門委員会及び第1回施設整備専門委員会を開催
11月17日	第1回競技運営専門委員会を開催
12月14日	第1回市町村担当者会議及び第1回競技団体担当者会議を開催
平成30年 5月22日	第2回総務企画専門委員会を開催
7月 9日	第2回常任委員会及び第2回総会を開催
7月24日	第1回広報・県民運動専門委員会を開催
7月31日	第2回市町村担当者会議及び第2回競技団体担当者会議を開催
10月29日	第3回総務企画専門委員会を開催
12月19日	第2回競技運営専門委員会及び第2回広報・県民運動専門委員会を開催
平成31年 1月31日	第3回常任委員会を開催
2月 6日	第4回総務企画専門委員会を開催
3月15日	第3回市町村担当者会議及び第3回競技団体担当者会議を開催

年 月 日	内 容
令和元年 5月30日	第5回総務企画専門委員会を開催
7月 1日	第4回常任委員会及び第3回総会を開催 「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会」に改称
7月 9日	第3回広報・県民運動専門委員会を開催
8月 2日	第1回開催基本構想策定検討部会を開催
8月28日	第4回市町村担当者会議及び第4回競技団体担当者会議を開催
11月12日	第6回総務企画専門委員会を開催
12月16日	第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月17日	第2回開催基本構想策定検討部会を開催
12月20日	第5回市町村担当者会議及び第5回競技団体担当者会議を開催（合同開催）
令和2年 1月16日	第1回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
1月31日	第7回総務企画専門委員会を開催
2月 5日	第4回広報・県民運動専門委員会を開催
2月 7日	第3回開催基本構想策定検討部会を開催
2月17日	第5回常任委員会を開催
3月18日	第6回市町村担当者会議及び第6回競技団体担当者会議（資料配付のみ）
6月25日	第8回総務企画専門委員会を開催
6月25日	第2回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
7月 6日	第6回常任委員会を開催
8月 7日	第4回総会を開催（書面開催）
8月20日	第7回市町村担当者会議を開催（テレビ会議）
8月24日	第7回競技団体担当者会議を開催
9月18日	第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催（書面開催）
9月24日	第3回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
10月15日	日本スポーツ協会臨時国体委員会において、本県の国民スポーツ大会開催年が令和9年（2027年）に変更され、開催申請書提出順序了解県（内々定県）として再決定
11月 9日	第5回広報・県民運動専門委員会を開催
12月18日	第3回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月23日	第1回輸送・交通専門委員会を開催
12月24日	第3回競技運営専門委員会を開催
令和3年 1月22日	第9回総務企画専門委員会を開催（書面開催）
2月15日	第7回常任委員会を開催（書面開催）
3月18日	第6回広報・県民運動専門委員会を開催
3月22日	第8回市町村担当者会議を開催（テレビ会議）

年 月 日	内 容
3月23日	第1回宿泊・衛生専門委員会を開催
6月 8日	第4回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
6月 9日	第10回総務企画専門委員会を開催
7月 5日	第8回常任委員会を開催
8月 6日	第5回総会を開催（書面開催）
10月11日	第9回市町村担当者会議・第8回競技団体担当者会議を開催（合同開催）
11月22日	第2回輸送・交通専門委員会を開催
12月15日	第4回競技運営専門委員会を開催
12月17日	第2回宿泊・衛生専門委員会を開催
12月20日	第11回総務企画専門委員会を開催
12月21日	第5回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
令和4年 2月14日	第9回常任委員会を開催（書面開催）
3月16日	県議会2月定例会において「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の開催」を決議
3月17日	第1回式典専門委員会を開催
3月22日	第7回広報・県民運動専門委員会を開催
4月25日	第10回市町村担当者会議を開催
6月 1日	文部科学省及び日本スポーツ協会に「第81回国民スポーツ大会開催申請書」を提出
7月12日	第12回総務企画専門委員会を開催
7月14日	日本スポーツ協会第3回理事会において、「第81回国民スポーツ大会」の宮崎県開催が内定（国スポ内定に伴い第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催が併せて内定）
8月22日	第10回常任委員会を開催
8月31日	第8回広報・県民運動専門委員会を開催
9月16日	第6回総会を開催（書面開催）
10月25日	第5回競技運営専門委員会を開催
11月 9日	第1回馬事衛生専門委員会を開催
11月16日	第11回市町村担当者会議を開催
11月21日	第1回イメージソング選定部会を開催
12月 6日	第6回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月 9日	第13回総務企画専門委員会を開催
12月14日	第9回広報・県民運動専門委員会を開催
12月20日	第2回式典専門委員会を開催
12月22日	第3回宿泊・衛生専門委員会を開催
令和5年 1月12日	第1回警備・消防・防災専門委員会を開催
2月 1日	第11回常任委員会を開催
2月13日	第3回輸送・交通専門委員会を開催
5月12日	第12回市町村担当者会議を開催

年 月 日	内 容
6月29日	第1回医療救護専門委員会を開催
7月 6日	第1回式典音楽部会を開催
7月12日	第14回総務企画専門委員会を開催
7月14日	第1回式典演技部会を開催
7月31日	第12回常任委員会及び第7回総会を開催
8月20日	「アスリートタウン延岡アリーナ」サブアリーナ供用開始
9月25日	第2回イメージソング選定部会を開催
10月 5日	第10回広報・県民運動専門委員会を開催
11月 7日	第2回馬事衛生専門委員会を開催
11月13日	第13回市町村担当者会議を開催
11月16日	第3回式典専門委員会を開催
11月17日	第2回警備・消防・防災専門委員会を開催
12月15日	第4回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催（書面開催）
12月19日	第7回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月21日	第4回宿泊・衛生専門委員会を開催
12月22日	第6回競技運営専門委員会を開催
令和6年 1月11日	第15回総務企画専門委員会を開催
1月22日	第11回広報・県民運動専門委員会を開催（書面開催）
2月 2日	第3回イメージソング選定部会を開催
2月 5日	第13回常任委員会を開催
2月14日	第4回輸送・交通専門委員会を開催
2月16日	第12回広報・県民運動専門委員会を開催
4月25日	第1回ポスター選定部会を開催
5月 9日	第14回市町村担当者会議を開催
5月15日	第13回広報・県民運動専門委員会を開催
5月23、24日	日本スポーツ協会及び文部科学省による総合視察
6月21日	第5回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催（書面開催）
6月27日	第1回競技運営担当者会議を開催
7月 4日	第2回式典演技部会を開催
7月 5日	第2回式典音楽部会を開催
7月 9日	第2回医療救護専門委員会を開催
7月12日	第14回広報・県民運動専門委員会を開催（書面開催）
7月17日	日本スポーツ協会第3回理事会において、「第81回国民スポーツ大会」の宮崎県開催が決定（会期：令和9年9月26日～10月6日。国スポ決定に伴い第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催が決定）
7月24日	第8回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
7月30日	第16回総務企画専門委員会を開催
8月 9日	第7回競技運営専門委員会を開催
9月 4日	第14回常任委員会及び第8回総会を開催

年 月 日	内 容
	「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会」に改称
9月 4日	第1回総会を開催
10月31日	第8回競技運営専門委員会を開催（書面開催）
11月2～4日	開催決定イベントを実施
11月15日	第4回式典専門委員会を開催
11月29日	第15回常任委員会を開催（書面開催）
11月29日	日本のひなた宮崎 障スポ（第26回全国障害者スポーツ大会）の会期が決定（会期：令和9年10月23日～10月25日）
12月 9日	第2回ポスター選定部会を開催
12月12日	第1回総務企画市町村担当者会議を開催
	日本スポーツ協会第3回国民スポーツ大会委員会において、「第81回国民スポーツ大会」の競技会会期が決定
12月16日	第5回輸送・交通専門委員会を開催
12月17日	第9回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月18日	第3回警備・消防・防災専門委員会を開催
12月19日	第1回水泳（飛込）競技運営専門委員会を開催
12月19日	第6回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催（書面開催）
12月20日	第3回馬事衛生専門委員会を開催（書面開催）
令和7年 1月15日	第17回総務企画専門委員会を開催
1月16日	第5回宿泊・衛生専門委員会を開催
1月17日	第15回広報・県民運動専門委員会を開催
1月22日	第9回競技運営専門委員会を開催
1月31日	第3回式典音楽部会を開催
2月 3日	第3回式典演技部会を開催
2月 5日	第16回常任委員会を開催
2月18日	第5回式典専門委員会を開催
2月19日	第2回競技運営担当者会議を開催
3月 4日	日本スポーツ協会第4回国民スポーツ大会委員会において、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」公式ポスターが承認・決定
3月15日	パーソルアクアパーク宮崎完成式典を実施
3月24日	第7回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催（書面開催）
4月 1日	パーソルアクアパーク宮崎供用開始
4月12日	霧島酒造スポーツランド都城オープニングセレモニー
4月21日	公式ポスターデザイン表彰式及び大型看板除幕式
5月 8日	第8回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催（書面開催）
5月12日	第15回市町村担当者会議を開催
5月23日	第16回広報・県民運動専門委員会を開催
6月 3日	第1回カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）競技運営専門委員会を開催
6月 4日	第10回競技運営専門委員会を開催

年 月 日	内 容
6月25日	第18回総務企画専門委員会を開催
6月27日	第4回式典音楽部会・第4回式典演技部会を開催
7月 8日	第3回競技運営担当者会議（国スポ）を開催
7月 8日	第1回競技運営担当者会議（障スポ）を開催
7月28日	第17回常任委員会及び第2回総会を開催
8月 8日	第6回式典専門委員会を開催
9月 8日	第5回式典演技部会を開催
9月 9日	第5回式典音楽部会を開催
9月23日	2年前イベントを開催
10月18日	ひなた TENNIS PARK MIYAZAKI 屋外コートオープニングセレモニー
11月11日	第6回宿泊・衛生専門委員会を開催
11月14日	第7回式典専門委員会を開催
11月18日	第10回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催（書面開催）
12月 3日	第4回馬事衛生専門委員会を開催（書面開催）
12月 5日	第9回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催（書面開催）
12月16日	第3回医療救護専門委員会を開催
12月17日	第2回水泳（飛込）競技運営専門委員会を開催
12月22日	第4回警備・消防・防災専門委員会を開催
令和8年 1月 8日	第2回総務企画市町村担当者会議を開催
1月 9日	第6回式典演技部会を開催
1月14日	第11回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
1月16日	第19回総務企画専門委員会を開催
1月16日	第6回式典音楽部会を開催
1月19日	第17回広報・県民運動専門委員会を開催
1月20日	第11回競技運営専門委員会を開催
1月27日	第6回輸送・交通専門委員会を開催
1月27日	第8回式典専門委員会を開催
1月28日	第2回カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）競技運営専門委員会を開催（書面開催）

各専門委員会の審議結果

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会会則第14条第2項の規定に基づき、各専門委員会の審議結果について、以下のとおり報告する。

1 総務企画専門委員会

[第19回]

開催日：令和8年1月16日（金）

決定事項：日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 総合リハーサルの実施日について

：日本のひなた宮崎 国スポ 大会役員編成基準

：記念品の製作について

：日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 総合案内所基本計画

承認事項：日本のひなた宮崎 障スポ 正式競技 開催予定施設の変更（案）

2 競技運営専門委員会

[第11回]

開催日：令和8年1月20日（火）

決定事項：日本のひなた宮崎 国スポ 競技会役員編成基準

：日本のひなた宮崎 国スポ 競技別リハーサル大会の追加

承認事項：第81回国民スポーツ大会 本大会実施要項総則（案）

：日本のひなた宮崎 国スポ 競技会会期変更（案）

3 広報・県民運動専門委員会

[第17回]

開催日：令和8年1月19日（月）

決定事項：マスコットキャラクターデザイン展開形の一部変更について

：美化活動全体計画

：日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ おもてなし広場基本計画

4 全国障害者スポーツ大会専門委員会

[第10回] 書面開催

開催日：令和7年11月18日（火）

承認事項：日本のひなた宮崎 障スポ 正式競技 開催予定施設の変更（案）

：日本のひなた宮崎 障スポ オープン競技 開催予定施設の変更（案）

[第11回]

開催日：令和8年1月14日（水）

決定事項：日本のひなた宮崎 障スポ 競技開始式・表彰式実施要項

：日本のひなた宮崎 障スポ 資格審査実施要項

：日本のひなた宮崎 障スポ 情報保障体制整備基本方針

承認事項：日本のひなた宮崎 障スポ 競技別会期（案）

5 宿泊・衛生専門委員会

[第6回]

開催日：令和7年11月11日（火）

決定事項：日本のひなた宮崎 国スポ 宿泊要項

：日本のひなた宮崎 障スポ 宿泊要項

6 医療救護専門委員会

[第3回]

開催日：令和7年12月16日（火）

決定事項：日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 医療救護実施要領

：日本のひなた宮崎 国スポ 会場地市町村医療救護業務指針

7 馬事衛生専門委員会

[第4回] 書面開催

開催日：令和7年12月3日（水）

報告事項のみ

8 輸送・交通専門委員会

[第6回]

開催日：令和8年1月27日（火）

決定事項：日本のひなた宮崎 国スポ 輸送・交通要項

9 式典専門委員会

[第6回]

開催日：令和7年8月8日（金）

決定事項：炬火イベントについて

[第7回]

開催日：令和7年11月14日（金）

決定事項：荒天時計画について

[第8回]

開催日：令和8年1月27日（火）

決定事項：日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 式典実施要項の策定について

：日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

炬火トーチデザイン及び入賞作品の決定について

：日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

オープニングプログラムにおける企画の公募について

承認事項：日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 式典実施計画（案）

10 警備・消防・防災専門委員会

[第4回]

開催日：令和7年12月22日（月）

決定事項：日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 開・閉会式会場管理運営要綱

11 水泳（飛込）競技運営専門委員会

[第2回]

開催日：令和7年12月17日（水）

決定事項：日本のひなた宮崎 国スポ 水泳（飛込）競技会実施計画

12 カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）競技運営専門委員会

[第2回] 書面開催

開催日：令和8年1月28日（水）

決定事項：日本のひなた宮崎

国スポ カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）競技会実施計画

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 総合リハーサルの実施日について

日本のひなた宮崎 国スポ（第 81 回国民スポーツ大会）の総合開・閉会式と、日本のひなた宮崎 障スポ（第 26 回全国障害者スポーツ大会）の開・閉会式を円滑に運営するために行う総合リハーサルの実施日を次のとおりとする。

なお、時間等については、今後、関係団体等との調整を行った上で決定する。

総合リハーサルの実施日

区分	国スポ	障スポ
実施日	令和 9 年 9 月 19 日（日） （総合開会式の 1 週間前）	令和 9 年 10 月 16 日（土） （開会式の 1 週間前）
会場	KUROKIRI STADIUM （宮崎県山之口陸上競技場）	

※ 雨天決行とし、荒天の場合は中止とする。

日本のひなた宮崎 国スポ 大会役員編成基準について

日本スポーツ協会の「国民スポーツ大会開催基準要項 23 大会役員」の規定に基づき、2027 年（令和 8 年）9 月開催の第 81 回国民スポーツ大会（日本のひなた宮崎 国スポ）の大会役員編成基準(案)を別紙 1 のとおり提案する。

(参考)

1 大会役員数（現時点での想定）

500 人程度

2 大会役員編成のスケジュール（予定）

- | | |
|------------|--|
| 令和 8 年 3 月 | 日本スポーツ協会において、第81回国民スポーツ大会（日本のひなた宮崎 国スポ）の「大会役員編成基準（案）」を協議・承認（大会役員編成基準の決定） |
| 令和 8 年 7 月 | 常任委員会・実行委員会総会に「大会役員編成基準」を報告 |
| 令和 8 年 8 月 | 大会役員名簿の作成（必要に応じ、随時更新） |
| 令和 9 年 6 月 | 大会役員に委嘱状を送付、来会調査の確認 |

国民スポーツ大会開催基準要項（令和7年6月3日 第63次改定）より抜粋

2.3 大会役員

(1) 大会役員は、概ね次のとおりとする。

名誉会長	文部科学大臣
会長	日本スポーツ協会会長
副会長	日本スポーツ協会副会長・専務理事、スポーツ庁長官、開催県知事、開催県体育・スポーツ協会会長
顧問	日本スポーツ協会顧問・理事・監事・評議員、全国を統轄する各競技団体会長、都道府県協会会長、文部科学副大臣、文部科学大臣政務官、文部科学事務次官、文部科学審議官、文部科学省大臣官房長、スポーツ庁次長、開催県選出衆・参両院議員、開催県議会議長・教育長・公安委員長・市長会会長・町村長会会長・市議長会会長・町村議長会会長、開催県スポーツ推進審議会会長
参与	スポーツ庁審議官・スポーツ総括官・政策課長・健康スポーツ課長・参事官（地域振興担当）、開催県議会議員・副知事・教育委員・開催県会計管理者・各部部长・警察本部長、開催県実行委員会常任委員、開催県体育・スポーツ協会副会長・顧問・参与
委員長	日本スポーツ協会国民スポーツ大会委員会委員長
副委員長	日本スポーツ協会事務局長、スポーツ庁競技スポーツ課長、開催県実行委員会事務局長
総務委員	日本スポーツ協会国民スポーツ大会委員会委員・担当事務局次長・担当部長・担当課長、開催県実行委員会事務局次長、開催県体育・スポーツ協会理事長又はこれに準ずる者、開催県体育・スポーツ主管課長
委員	日本スポーツ協会国スポ競技運営部会委員・事務局担当者、スポーツ庁担当官、開催県体育・スポーツ協会常務理事、JADA 事務局長又はこれに準ずる者、開催県実行委員会事務局の課長以上

2.5 開催県実行委員会及び会場地市町村実行委員会

(1)～(3)略

(4) 開催県実行委員会は、下記の事項については日本スポーツ協会と協議し、承認を得なければならない。

①略

②大会役員及び競技会役員編成基準

③～⑪略

(5)略

別紙1

第81回国民スポーツ大会 大会役員編成基準

団体 役職	公益財団法人 日本スポーツ協会	文部科学省 スポーツ庁	宮崎県	公益財団法人 宮崎県スポーツ協会	実施競技団体	参加都道府県	公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構
名誉会長		大臣					
会長	会長						
副会長	副会長 専務理事	スポーツ庁長官	知事	理事長			
顧問	名誉会長 最高顧問 顧問 理事 監事 評議員	副大臣 大臣政務官 事務次官 文部科学審議官 大臣官房長 スポーツ庁次長	県選出国會議員 県議會議長 教育長 公安委員長 市長会会長 町村会会長 市議會議長会会長 町村議會議長会会長 スポーツ推進審議 会会長		会長	スポーツ協会会長	
参与		スポーツ庁審議官 スポーツ庁 スポーツ統括官 スポーツ庁 政策課長 スポーツ庁 健康スポーツ課長 スポーツ庁参事官 (地域振興担当)	県議會議員 副知事 教育委員 会計管理者 部局長 警察本部長 実行委員会常任委員	名誉会長 会長 副会長 顧問 参与			
委員長	国スポ委員長						
副委員長	事務局長	スポーツ庁 競技スポーツ課長	実行委員会事務局長				
総務委員	国スポ委員会委員 事務局次長 国スポ推進部長 国スポ課長		実行委員会事務局次 長 スポーツ振興課長	専務理事			
委員	国スポ競技運営部 会委員 事務局担当者	スポーツ庁担当官	実行委員会事務局課 長			スポーツ主管課長 スポーツ協会理事 長又は専務理事	事務局長

記念品の製作について

1 目的

宮崎国スポ・障スポへの出場を称え、参加を記念することを目的に、両大会の選手や監督、役員（大会役員、競技会役員、競技役員）に対して、記念品を配付する。

2 配付対象者

以下の選手団（役員・監督を含む。）を対象とする。

【国スポ】正式競技、特別競技、公開競技、デモンストレーションスポーツ

【障スポ】正式競技、オープン競技

3 選定・調達方法

記念品の選定にあたっては、価格だけでなく、品質やデザイン、宮崎らしさ等を審査基準に含めることのできるプロポーザル方式を採用。

主な審査基準は、以下を予定。

- (1) 両大会に出場した記念品としてふさわしいもの
- (2) 宮崎らしさが伝わるもの
- (3) 持ち帰りが容易で、長期保管に耐えることができるもの

4 今後のスケジュール

令和 8 年 2 月	数量調査
令和 8 年 5 月	プロポーザル審査、契約
令和 8 年度～	納品、配付

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 総合案内所基本計画

1 設置目的

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポに参加する選手団や大会関係者、観覧者等を温かくお迎えし、開・閉会式や各競技会、交通等に関する情報提供を行うとともに、観光や物産等、宮崎県の魅力発信を行うため、総合案内所を設置する。

2 設置者

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会

3 設置場所・期間

開催時期		設置エリア	設置場所	設置期間 令和 9 年(2027 年)
国スポ	会期前	公共交通拠点等	宮崎空港 宮崎駅	9 月 7 日(火)～ 9 月 23 日(木) (会期前競技実施 2 日前～競技終了日)
		県運営競技会場	県外競技会場	9 月 10 日(金)～ 9 月 13 日(月) (競技開始日～競技終了日)
	本大会	公共交通拠点等	宮崎空港 宮崎駅	9 月 24 日(金)～ 10 月 6 日(水) (総合開会式 2 日前～総合閉会式の日)
		開・閉会式会場	霧島酒造スポーツ ランド都城	9 月 26 日(日)、 10 月 6 日(水) (総合開会式の日、総合閉会式の日)
障スポ		公共交通拠点等	宮崎空港 宮崎駅	10 月 21 日(木)～ 10 月 25 日(月) (開会式 2 日前～閉会式の日)
		開・閉会式会場	霧島酒造スポーツ ランド都城	10 月 23 日(土)、 10 月 25 日(月) (開会式の日、閉会式の日)
		各競技会場	障スポ各競技会場	10 月 23 日(土)～ 10 月 25 日(月) (競技開始日～競技終了日)

4 業務内容

公共交通拠点	<ol style="list-style-type: none"> 1 大会全般の案内について <ul style="list-style-type: none"> ・両大会の概要 ・開・閉会式の内容 ・競技会の内容 ・競技結果 2 閉会式会場、競技会場等への交通案内 3 観光・物産等の情報発信・案内 4 その他
開・閉会式会場	<ol style="list-style-type: none"> 1 大会全般の案内について <ul style="list-style-type: none"> ・両大会の概要 ・開・閉会式の内容 ・開・閉会式会場内の案内 ・競技会の内容 ・競技結果 2 競技会場等への交通案内 3 観光・物産等の情報発信・案内 4 車椅子、ベビーカー、ラジオ、毛布の貸出し 5 落とし物、迷子等への対応 6 その他
各競技会場	<ol style="list-style-type: none"> 1 大会全般の案内について <ul style="list-style-type: none"> ・両大会の概要 ・競技会場内の案内 ・各競技会の内容 ・競技結果 2 閉会式会場、各競技会場等への交通案内 3 観光・物産等の情報発信・案内 4 車椅子、毛布の貸出し 5 落とし物、迷子等への対応 6 その他

5 その他

設置場所及び設置期間は上記を基本とするが、利用見込み等を考慮し、必要に応じて追加・変更する。

国スポ競技の各市町実行委員会は、円滑な競技運営等に資するため、必要に応じて競技会場や各市町村の交通拠点、選手団の指定バス乗降地等に案内所を設置する。

日本のひなた宮崎 国スポ 競技会役員編成基準

国民スポーツ大会開催基準要項第 2 5 項第 4 号及び日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会専門委員会規程第 2 条に基づき、日本のひなた宮崎 国スポ 競技会役員編成基準案について審議を行う。

【競技会役員等の定義】

役職名		定義	編成方法
競技会役員		国民スポーツ大会開催基準要項第 2 3 項第 2 号の規定に該当する者	名誉会長、会長、副会長、顧問、参与、委員長、副委員長及び委員
競技役員	審判員	競技の審判に携わる者	○原則として、県内有資格者 ○必要に応じて中央及び近県競技団体関係者を含める。
	運営員	競技会の運営に携わる者(審判員を除く)	○原則として、県競技団体関係者と会場地市町村関係者等 ○必要に応じて中央及び近県競技団体関係者を含める。
競技補助員		競技役員の業務補助に携わる者	会場地市町村及び周辺市町村に在住する当該競技関係者

【根拠：（公財）日本スポーツ協会 国民スポーツ大会開催基準要項（抜粋）】

2 3 大会役員	(2) 競技会役員は、概ね次のとおりとする。ただし、公開競技においては、当該中央競技団体が開催関係機関・団体と協議の上、決定する。
名誉会長	会場地市町村長
会長	全国を統轄する競技団体会長
副会長	全国を統轄する競技団体副会長、会場地市町村体育・スポーツ協会会長、開催県競技団体会長、会場地市町村実行委員会事務局長
顧問	全国を統轄する競技団体顧問、都道府県競技団体会長、会場地市町村議会議長・教育長
参与	会場地市町村議会議員・教育委員・副市町村長・会計管理者・関係部長、会場地市町村体育・スポーツ協会顧問・副会長、会場地市町村実行委員会常任委員、開催県競技団体副会長・顧問・参与、会場地競技団体顧問・参与、全国を統轄する競技団体役員の中で特に必要と認めたる者
委員長	全国を統轄する競技団体理事長又はこれに準ずる者
副委員長	会場地市町村実行委員会事務局次長、会場地市町村競技団体会長、開催県競技団体理事長又はこれに準ずる者
委員	全国を統轄する競技団体理事、開催県競技団体理事、会場地市町村競技団体副会長、会場地市町村実行委員会事務局各部長・各副部長、会場地市町村体育・スポーツ協会常務理事、JADA 事務局担当者又はこれに準ずる者
2 5 開催県実行委員会及び会場地市町村実行委員会	(4) 開催県実行委員会は、下記の事項については日本スポーツ協会と協議し、承認を得なければならない。
	②大会役員及び競技会役員編成基準

【今後のスケジュール（予定）】

- 令和 8 年 3 月 (公財) 日本スポーツ協会へ県案の提出・承認後、会場地市町村へ通知
会場地市町村において編成作業開始
- 令和 8 年 7 月 県実行委員会常任委員会へ報告

日本のひなた宮崎 国スポ 競技会役員編成基準

【正式競技・特別競技】

団体名 役職名	会場地市町村	全国を 統轄する 競技団体	宮崎県 競技団体	会場地市町村 体育・スポーツ 協会	会場地市町村 競技団体	都道府県 競技団体 (開催県除く)	(公財)日本 アンチ・ドー ピング機構
名誉会長	市 町 村 長						
会 長		会 長					
副会長	実 行 委 員 会 事 務 局 長	副 会 長	会 長	会 長			
顧 問	議 会 議 長 教 育 長	顧 問				会 長	
参 与	議 会 議 員 教 育 委 員 長 市 町 村 長 会 計 管 理 部 長 関 係 部 員 実 行 委 員 会 常 任 委 員	役員の中で 特に必要と 認められた者	副 会 長 副 顧 問	副 会 長 副 顧 問	顧 問 参 与		
委員長		理 事 長 又はこれに 準ずる者					
副委員長	実 行 委 員 会 事 務 局 次 長		理 事 長 又はこれに 準ずる者		会 長		
委 員	実 行 委 員 会 事 務 局 各 部 長 ・ 各 副 部 長	理 事	理 事	常 務 理 事	副 会 長		事務局担当者 又はこれに 準ずる者

(注1) デモンストラーションスポーツの競技会役員編成は、(公財)日本スポーツ協会の示す「国民スポーツ大会開催基準要項」に準じて、会場地市町村が関係機関・団体と協議の上、決定する。

(注2) 県外で開催する競技会については、本基準を参考に県実行委員会、会場地市町村及び関係競技団体が協議の上、編成する。

日本のひなた宮崎 国スポ 競技別リハーサル大会の追加

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会専門委員会規程第 2 条及び第 8 1 回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項第 8 に基づき、競技別リハーサル大会の開催について審議を行う。

これまでの経過

年 度	内 容
令和 4 年度 ～ 令和 5 年度	(1) 第 8 1 回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項策定 (2) 競技別リハーサル大会調査 (第 1 次) ① リハーサル大会の開催の有無等の把握 ② 調査結果について、第 6 回競技運営専門委員会で報告
令和 6 年度 ～ 令和 7 年度	(1) 競技別リハーサル大会調査 (第 2 次) ① リハーサル大会の開催の有無等の把握(前回調査の変更を含む) ② 中央競技団体等との調整による、リハーサル大会の日程把握 ③ リハーサル大会規模の把握等 ④ 調査結果について、第 9 回競技運営専門委員会で報告 (2) 第 8 1 回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会運営要領策定 (3) 競技別リハーサル大会開催申請書等提出依頼 ① 候補競技会と日程の決定 ② 事業計画書の作成 ③ リハーサル大会について、第 1 0 回競技運営専門委員会で審議 ④ 第 1 7 回常任委員会報告 (4) 競技別リハーサル大会未承認大会開催申請書等提出依頼 ① 候補競技会と日程の決定 ② 事業計画書の作成 ③ リハーサル大会追加について (次頁以降参照)、第 1 1 回競技運営専門委員会で審議

【参考 第 8 1 回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項 (抜粋)】

8 開催の手続き

大会を開催する会場地市町村は、関係競技団体と協議の上、大会開催申請書を県に提出し、承認を求めるものとする。

なお、提出する申請書及び提出時期については、別に定める。

【今後のスケジュール (予定)】

年 月	内 容
令和 8 年 1 月	(1) 県から市町村へ承認通知 (2) 市町村は承認に基づき、リハーサル大会運営準備に着手
令和 8 年 2 月 4 日	第 1 8 回常任委員会で報告

【水泳競技 アーティスティックスイミング】

市町村名	宮崎市	
大会名	日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ 2026 九州各県予選	
競技会場	パーソルアクアパーク宮崎	
競技 日程	開始日	令和8年6月6日
	終了日	令和8年6月6日

【バレーボール競技 ビーチバレーボール】

市町村名	日向市	
大会名	第12回全九州ビーチバレーボールジュニア選手権（岩崎杯）大会	
競技会場	お倉ヶ浜海水浴場特設会場	
競技 日程	開始日	令和8年6月27日
	終了日	令和8年6月28日

【カヌー競技 スラローム・ワイルドウォーター】

市町村名	鹿児島県湧水町	
大会名	日本選手権大会 令和8年度日本カヌーワイルドウォーター選手権大会 2026 カヌースラロームジャパンカップキョクヨーシリーズ最終戦 2026 カヌーワイルドウォータージャパンカップ最終戦	
競技会場	湧水町轟の瀬特設カヌー競技場	
競技 日程	開始日	令和8年9月19日
	終了日	令和8年9月20日

【トライアスロン競技】

市町村名	宮崎市	
大会名	第17回日本スプリントトライアスロン選手権(2026/宮崎)	
競技会場	みやざき臨海公園特設会場	
競技 日程	開始日	令和8年9月27日
	終了日	令和8年9月27日

日本のひなた宮崎 国スポ 競技別リハーサル大会〔競技別〕

注1：参加見込数（人）は、選手、役員団（本県分含む）の人数である。

令和8年1月時点

注2：複数会場地で開催される競技については、全体の合計数であり、各会場地毎の数は未定である。

No.	競技・種目名	市町村名	大会名	参加見込数 (人)	競技会場名	競技日程		
						開始日	終了日	
1	陸上競技	都 城市	第81回九州陸上競技選手権大会	2,804	KUROKIRI STADIUM (宮崎県山之口陸上競技場)	令和8年8月21日	令和8年8月23日	
2	水 泳	競 泳	宮 崎 市	第73回全国国公立大学選手権水泳競技大会	1,372	パーソルアクアパーク宮崎	令和8年8月7日	令和8年8月9日
		飛 込	熊 本 県 熊 本 市	令和8年度 全九州高等学校体育大会 第55回全九州高校総体飛込競技	48	熊本市総合屋内プール アクアドームくまもと	令和8年7月11日	令和8年7月12日
		水 球	宮 崎 市	全日本ジュニア(U17)水球競技選手権大会 ～かしわざき潮風カップ～九州地区予選会	162	パーソルアクアパーク宮崎	令和9年1月9日	令和9年1月10日
		アーティスティック スイミング	宮 崎 市	日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2026九州各県予選	58	パーソルアクアパーク宮崎	令和8年6月6日	令和8年6月6日
		オープンウォーター スイミング	延 岡 市	OWSすみえカップ2026	207	須美江海水浴場特設会場	令和8年9月20日	令和8年9月20日
水泳小計				1,847				
3	サッカー	綾 町	第62回全国社会人サッカー選手権大会	1,831	綾錦原サッカー場 綾小田爪多目的競技場 綾てるは広場	令和8年10月24日	令和8年10月26日	
		西 都 市			清水台総合公園多目的広場A面、B面、C面	令和8年10月24.25日	令和8年10月27日	
		新 富 町			新富町フットボールセンター いちご宮崎新富サッカー場 富田浜公園	令和8年10月24.26日	令和8年10月28日	
4	テニス	宮 崎 市	第49回全日本都市対抗テニス大会	516	ひなたTENNIS PARK MIYAZAKI	令和8年7月17日	令和8年7月19日	
5	ローイング	小 林 市	未定	—	(仮称) 小野湖特設ローイング競技場	未定	未定	
6	ホッケー	都 農 町	2026年度 全日本社会人ホッケー選手権大会	600	都農町藤見公園ホッケー場 都農町藤見公園西側多目的広場	令和8年10月10日	令和8年10月14日	
7	ボクシング	えびの市	第78回全日本社会人ボクシング選手権大会 ／第5回全日本女子ジュニアボクシング選手権大会	410	えびの市民体育館	令和8年11月25日	令和8年11月29日	
8	バレー ボール	6人制	日 南 市	開催しない				
			延 岡 市	令和8年度天皇杯・皇后杯JVA全日本バレーボール選手権大会 九州ブロックラウンド	749	アスリートタウン延岡アリーナ メインアリーナ・サブアリーナ	令和8年9月19日	令和8年9月21日
			都 城 市	令和8年度 第37回全九州選抜高等学校バレーボール大会	1,459	早水公園体育文化センター 高城運動公園総合体育館 (仮称) 健幸のまちづくり拠点施設 小林市市民体育館 高崎総合運動公園総合体育館	令和9年2月13日	令和9年2月14日
			小 林 市					
		ビーチ バレーボール	日 向 市	第12回全九州ビーチバレーボールジュニア選手権(岩崎杯)大会	207	お倉ヶ浜海水浴場特設会場	令和8年6月27日	令和8年6月28日
バレーボール小計				2,415				
9	体 操	競技	延 岡 市	第43回 全国高等学校体操競技選抜大会	380	アスリートタウン延岡アリーナ	令和9年3月20日	令和9年3月21日
		新体操	延 岡 市	第42回 全国高等学校新体操選抜大会	494		令和9年3月24日	令和9年3月25日
		トランポリン	小 林 市	宮崎オープン2026トランポリン競技選手権大会	185	(仮称) 健幸のまちづくり拠点施設	令和8年8月22日	令和8年8月23日
体操小計				1,059				
10	バスケットボール	都 城 市	第57回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会	1,269	早水公園体育文化センター 高崎総合公園総合体育館	令和9年2月19日	令和9年2月21日	
		日 向 市			日向市総合体育館	令和9年2月19日	令和9年2月21日	
		美 郷 町			宮崎県立日向高等学校体育館 美郷町北郷総合交流センター	令和9年2月19日	令和9年2月20日	
11	レスリング	日 南 市	令和8年度第62回全九州高等学校レスリング新人選手権大会	253	日南総合運動公園多目的体育館アリーナ	令和9年1月30日	令和9年1月31日	
12	セーリング	日 南 市	高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会 第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 2026全日本セーリング選手権大会	657	日南市大堂津特設セーリング会場	令和8年8月22日	令和8年8月24日	
13	ウエイトリフティング	小 林 市	内閣総理大臣杯第63回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会 レディースカップ第18回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会	732	小林市文化会館	令和8年11月19日	令和8年11月23日	
14	ハンドボール	綾 町	第31回ジャパンオープンハンドボールトーナメント	1,251	綾てるはドーム	令和8年8月8日	令和8年8月10日	
		宮 崎 市			宮崎市総合体育館 宮崎市佐土原体育館	令和8年8月8日	令和8年8月11日	
15	自転車	トラックレース	宮 崎 市	第61回全国都道府県対抗自転車競技大会	636	ひなたペドローム宮崎	令和8年9月11日	令和8年9月12日
		ロードレース	串 間 市				817	串間市特設ロードレースコース
16	ソフトテニス	都 城 市	男子第71回・女子第70回 全日本実業団ソフトテニス選手権大会	1,668	都城市運動公園庭球場	令和8年8月1日	令和8年8月2日	
		宮 崎 市			宮崎市生目の杜運動公園テニスコート 宮崎市清武総合運動公園第2テニスコート			
17	卓 球	宮 崎 市	2026年全日本卓球選手権大会(団体の部)	259	宮崎市総合体育館	令和8年10月23日	令和8年10月25日	

日本のひなた宮崎 国スポ 競技別リハーサル大会〔競技別〕

注1：参加見込数（人）は、選手、役員団（本県分含む）の人数である。

令和8年1月時点

注2：複数会場で開催される競技については、全体の合計数であり、各会場毎の数は未定である。

No.	競技・種目名	市町村名	大会名	参加見込数 (人)	競技会場名	競技日程		
						開始日	終了日	
18	軟式野球	延岡市	第30回 西日本軟式野球選手権大会	1,033	西階公園野球場	令和8年10月31日	令和8年11月2日	
		日向市			お倉ヶ浜総合公園野球場	令和8年10月31日	令和8年11月1日	
		高鍋町			高鍋総合運動公園MASUDAスタジアム	令和8年10月31日	令和8年10月31日	
		川南町			川南町運動公園野球場	令和8年10月31日	令和8年10月31日	
		門川町			門川海浜総合公園野球場	令和8年10月31日	令和8年11月1日	
		西都市			西都原運動公園野球場	令和8年10月31日	令和8年10月31日	
19	相撲	五ヶ瀬町	第64回全国教職員相撲選手権大会	188	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館 相撲場	令和8年8月23日	令和8年8月23日	
20	馬術	綾町	日本のひなた宮崎馬術競技リハーサル大会	223	綾馬事公苑	令和9年6月12日	令和9年6月13日	
21	フェンシング	国富町	第79回全日本フェンシング選手権大会（団体戦）	900	アリーナくにとみ	令和8年12月18日	令和8年12月20日	
22	柔道	延岡市	厚生労働大臣杯争奪 第76回全日本実業柔道団体対抗大会	810	アスリートタウン延岡アリーナ	令和8年6月13日	令和8年6月14日	
23	ソフトボール	延岡市	皇后盃 第78回全日本総合女子ソフトボール選手権大会	985	西階公園野球場	令和8年9月12日	令和8年9月13日	
		宮崎市			宮崎市清武総合運動公園SOKKENスタジアム 宮崎市清武総合運動公園第2野球場	令和8年9月12日	令和8年9月14日	
		日向市			お倉ヶ浜総合運動公園野球場	令和8年9月12日	令和8年9月13日	
		門川町			開催しない			
24	バドミントン	高鍋町	バドミントンS/JリーグII 2026大会	460	井上スポーツセンター高鍋町総合体育館	令和8年11月26日	令和8年11月29日	
25	弓道	近的	第73回全日本勤労者弓道選手権大会	519	串間市総合運動公園特設弓道会場	令和8年6月13日	令和8年6月14日	
		遠的						開催しない
26	ライフル射撃	50m	令和8年度全日本社会人スポーツ射撃競技選手権大会・ 全国ジュニアスポーツ射撃競技大会	567	宮崎県ライフル射撃競技場	令和8年10月31日	令和8年11月2日	
		10m・AP						
		BR・BP			宮崎市	宮崎市田野体育館		
		CFP			宮崎市	令和8年度全国センター・ファイア・ピストル射撃競技大会	145	宮崎県警察学校射撃場
ライフル射撃小計				712				
27	剣道	高千穂町	第76回西日本各県対抗剣道大会	132	高千穂町武道館	令和8年6月14日	令和8年6月14日	
28	ラグビーフットボール	7人制	開催しない					
		15人制	宮崎市	令和8年度全九州高等学校体育大会 第79回全九州高等学校ラグビーフットボール競技大会	577	ひなた宮崎県総合運動公園ラグビー場 ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場	令和8年6月20日 6月22日は休業日	令和8年6月23日
29	スポーツクライミング	リード ボルダー	木城町	253	木城町体育館 スポーツクライミング特設会場	令和9年7月3日	令和9年7月4日	
30	カヌー	スプリント	小林市	未定	（仮称）小野湖特設カヌー競技場	未定	未定	
		スラローム	鹿児島県湧水町	日本選手権大会 令和8年度日本カヌーワイルドウォーター選手権大会 2026カヌースラロームジャパンカップキョクヨーンシリーズ最終戦 2026カヌーワイルドウォータージャパンカップ最終戦	145	湧水町轟の瀬 特設カヌー競技場	令和8年9月19日	令和8年9月20日
		ワイルドウォーター	鹿児島県湧水町					
31	アーチェリー	高原町	西日本少年アーチェリー大会	188	高原町総合運動公園多目的芝生広場	令和8年7月19日	令和8年7月20日	
32	空手道	宮崎市	第11回全九州マスターズ空手道選手権大会	272	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館	令和9年3月21日	令和9年3月21日	
33	銃剣道	三股町	日本のひなた宮崎 銃剣道競技 リハーサル大会	127	三股町武道体育館	令和8年9月6日	令和8年9月6日	
34	なぎなた	日之影町	第68回都道府県対抗なぎなた大会	358	日之影町立日之影中学校体育館	令和8年5月23日	令和8年5月24日	
35	ボウリング	宮崎市	第55回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会	334	宮崎エースレーン	令和8年11月21日	令和8年11月23日	
36	ゴルフ	宮崎市	開催しない					
37	トライアスロン	宮崎市	第17回日本スプリントトライアスロン選手権(2026/宮崎)	196	みやざき臨海公園特設会場	令和8年9月27日	令和8年9月27日	
38	高等学校野球	硬式	開催しない					
		軟式	日南市	開催しない				
全36競技 参加見込合計（人）				27,436				

日本のひなた宮崎 国スポ 競技別リハーサル大会〔市町村別〕

注1：参加見込数（人）は、選手、役員団（本県分含む）の人数である。

令和8年1月時点

注2：複数会場地で開催される競技については、全体の合計数「（ ）」で表示しており、各会場地毎の数は未定である。

No.	市町村 参加見込数(人)	競技・種目名		大会名	参加見込数 (人)	競技会場名	競技日程	
							開始日	終了日
1	宮崎市 4,898 (3,904)	水泳	競泳	第73回全国公立大学選手権水泳競技大会	1,372	パーソルアクアパーク宮崎	令和8年8月7日	令和8年8月9日
			水球	全日本ジュニア(U17)水球競技選手権大会 ～かしわざき潮風カップ～九州地区予選会	162	パーソルアクアパーク宮崎	令和9年1月9日	令和9年1月10日
			アーティスティック スイミング	日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2026九州各県予選	58	パーソルアクアパーク宮崎	令和8年6月6日	令和8年6月6日
		テニス		第49回全日本都市対抗テニス大会	516	ひなたTENNIS PARK MIYAZAKI	令和8年7月17日	令和8年7月19日
		ハンドボール		第31回ジャパンオープンハンドボールトーナメント	(1,251)	宮崎市総合体育館 宮崎市佐土原体育館	令和8年8月8日	令和8年8月11日
		自転車	トラックレース	第61回全国都道府県対抗自転車競技大会	636	ひなたベロドローム宮崎	令和8年9月11日	令和8年9月12日
		ソフトテニス		男子第71回・女子第70回 全日本実業団ソフトテニス選手権大会	(1,668)	宮崎市生目の杜運動公園テニスコート 宮崎市清武総合運動公園第2テニスコート	令和8年8月1日	令和8年8月2日
		卓球		2026年全国日本卓球選手権大会（団体の部）	259	宮崎市総合体育館	令和8年10月23日	令和8年10月25日
		ソフトボール		皇后盃 第78回全日本総合女子ソフトボール選手権大会	(985)	宮崎市清武総合運動公園SOKKENスタジアム 宮崎市清武総合運動公園第2野球場	令和8年9月12日	令和8年9月14日
		ライフル射撃	50m	令和8年度全日本社会人スポーツ射撃競技選手権大会・ 全国ジュニアスポーツ射撃競技大会	567	宮崎県ライフル射撃競技場	令和8年10月31日	令和8年11月2日
			10m・AP					
			BR・BP					
			C F P	令和8年度全国センター・ファイア・ピistol射撃競技大会	145	宮崎県警察学校射撃場	令和8年8月8日	令和8年8月9日
		ラグビー フットボール	7人制	開催しない				
			15人制	令和8年度九州高等学校体育大会 第79回全九州高等学校ラグビーフットボール競技大会	577	ひなた宮崎県総合運動公園ラグビー場 ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場	令和8年6月20日 6月22日は休業日	令和8年6月23日
空手道		第11回全九州マスターズ空手道選手権大会	272	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館	令和9年3月21日	令和9年3月21日		
ボウリング		第55回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会	334	宮崎エースレーン	令和8年11月21日	令和8年11月23日		
ゴルフ		開催しない						
		トライアスロン	第17回日本スプリントトライアスロン選手権(2026/宮崎)	196	みやざき臨海公園特設会場	令和8年9月27日	令和8年9月27日	
2	都城市 2,804 (4,396)	陸上競技	第81回九州陸上競技選手権大会	2,804	KUROKIRI STADIUM (宮崎県山之上陸上競技場)	令和8年8月21日	令和8年8月23日	
		バレーボール	6人制	令和8年度 第37回全九州選抜高等学校バレーボール大会	(1,459)	早水公園体育文化センター 高城運動公園総合体育館	令和9年2月13日	令和9年2月14日
		バスケットボール	第57回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会	(1,269)	早水公園体育文化センター 高崎総合公園総合体育館	令和9年2月19日	令和9年2月21日	
		ソフトテニス	男子第71回・女子第70回 全日本実業団ソフトテニス選手権大会	(1,668)	都城市運動公園庭球場	令和8年8月1日	令和8年8月2日	
3	延岡市 2,568 (2,018)	水泳	オープンウォーター スイミング	OWSすみえカップ2026	207	須美江海水浴場特設会場	令和8年9月20日	令和8年9月20日
		バレーボール	6人制	令和8年度天皇杯・皇后杯JVA全日本バレーボール選手権大会 九州ブロックラウンド	749	アスリートタウン延岡アリーナ メインアリーナ・サブアリーナ	令和8年9月19日	令和8年9月21日
		体操	競技	第43回 全国高等学校体操競技選抜大会	308	アスリートタウン延岡アリーナ	令和9年3月20日	令和9年3月21日
			新体操	第42回 全国高等学校新体操選抜大会	494		令和9年3月24日	令和9年3月25日
		軟式野球	第30回 西日本軟式野球選手権大会	(1,033)	西階公園野球場	令和8年10月31日	令和8年11月2日	
		柔道	厚生労働大臣杯争奪 第76回全日本実業柔道団体対抗大会	810	アスリートタウン延岡アリーナ	令和8年6月13日	令和8年6月14日	
ソフトボール	皇后盃 第78回全日本総合女子ソフトボール選手権大会	(985)	西階公園野球場	令和8年9月12日	令和8年9月13日			
4	日南市 910	バレーボール	6人制	開催しない				
		レスリング	令和8年度第62回全九州高等学校レスリング新人選手権大会	253	日南総合運動公園多目的体育館アリーナ	令和9年1月30日	令和9年1月31日	
		セーリング	高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会 第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 2026全日本セーリング選手権大会	657	日南市大堂津特設セーリング会場	令和8年8月22日	令和8年8月24日	
		高等学校野球	硬式	開催しない				
		軟式	開催しない					
5	小林市 917 (1,459)	バレーボール	6人制	令和8年度 第37回全九州選抜高等学校バレーボール大会	(1,459)	(仮称) 健康のまちづくり拠点施設 小林市民体育館 高崎総合運動公園総合体育館	令和9年2月13日	令和9年2月14日
		体操	トランポリン	宮崎オープン2026トランポリン競技選手権大会	185	(仮称) 健康のまちづくり拠点施設	令和8年8月22日	令和8年8月23日
		ウエイトリフティング	内閣総理大臣杯第63回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会 レディースカップ第18回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会	732	小林市文化会館	令和8年11月19日	令和8年11月23日	
		カヌー	スプリント	未定	—	(仮称) 小野湖特設カヌー競技場	未定	未定
			ローイング	未定	—	(仮称) 小野湖特設ローイング競技場	未定	未定

日本のひなた宮崎 国スポ 競技別リハーサル大会〔市町村別〕

注1：参加見込数（人）は、選手、役員団（本県分含む）の人数である。

令和8年1月時点

注2：複数会場地で開催される競技については、全体の合計数「（ ）」で表示しており、各会場地毎の数は未定である。

No.	市町村 参加見込数(人)	競技・種目名		大会名	参加見込数 (人)	競技会場名	競技日程	
		開始日	終了日					
6	日向市 207 (3,287)	バレーボール	ビーチバレーボール	第12回全九州ビーチバレーボールジュニア選手権(岩崎杯)大会	207	お倉ヶ浜海水浴場特設会場	令和8年6月27日	令和8年6月28日
		バスケットボール		第57回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会	(1,269)	日向市総合体育館 宮崎県立日向高等学校体育館	令和9年2月19日	令和9年2月21日
		軟式野球		第30回 西日本軟式野球選手権大会	(1,033)	お倉ヶ浜総合公園野球場	令和8年10月31日	令和8年11月1日
		ソフトボール		皇后盃 第78回全日本総合女子ソフトボール選手権大会	(985)	お倉ヶ浜総合運動公園野球場	令和8年9月12日	令和8年9月13日
7	串間市 1,155	自転車	ロードレース	第61回全国都道府県対抗自転車競技大会	636	串間市特設ロードレースコース	令和8年9月13日	令和8年9月13日
		弓道	近的	第73回全日本勤労者弓道選手権大会	519	串間市総合運動公園特設弓道会場	令和8年6月13日	令和8年6月14日
			遠的	開催しない				
8	西都市 (2,864)	サッカー		第62回全国社会人サッカー選手権大会	(1,831)	清水台総合公園多目的広場A面、B面、C面	令和8年10月24,25日	令和8年10月27日
		軟式野球		第30回 西日本軟式野球選手権大会	(1,033)	西都原運動公園野球場	令和8年10月31日	令和8年10月31日
9	えびの市 410	ボクシング		第78回全日本社会人ボクシング選手権大会 ／第5回全日本女子ジュニアボクシング選手権大会	410	えびの市民体育館	令和8年11月25日	令和8年11月29日
10	三股町 127	銃剣道		日本のひなた宮崎 銃剣道競技 リハーサル大会	127	三股町武道体育館	令和8年9月6日	令和8年9月6日
11	高原町 188	アーチェリー		西日本少年アーチェリー大会	188	高原町総合運動公園多目的芝生広場	令和8年7月19日	令和8年7月20日
12	国富町 900	フェンシング		第79回全日本フェンシング選手権大会(団体戦)	900	アリーナくにとみ	令和8年12月18日	令和8年12月20日
13	綾町 223 (3,082)	サッカー		第62回全国社会人サッカー選手権大会	(1,831)	綾錦原サッカー場 綾小田爪多目的競技場 綾てるは広場	令和8年10月24日	令和8年10月26日
		ハンドボール		第31回ジャパンオープンハンドボルトーナメント	(1,251)	綾てるはドーム	令和8年8月8日	令和8年8月10日
		馬術		日本のひなた宮崎馬術競技リハーサル大会	223	綾馬事公苑	令和9年6月12日	令和9年6月13日
14	高鍋町 460 (1,033)	軟式野球		第30回 西日本軟式野球選手権大会	(1,033)	高鍋総合運動公園MASUDAスタジアム	令和8年10月31日	令和8年10月31日
		バドミントン		バドミントンS/JリーグII 2026大会	460	井上スポーツセンター高鍋町総合体育館	令和8年11月26日	令和8年11月29日
15	新富町 (1,831)	サッカー		第62回全国社会人サッカー選手権大会	(1,831)	新富町フットボールセンター いちご宮崎新富サッカー場 富田浜公園	令和8年10月24,26日	令和8年10月28日
16	木城町 253	スポーツ クライミング	リード ボルダー	Next Generation Cup 2027 in Kijo	253	木城町体育館 スポーツクライミング特設会場	令和9年7月3日	令和9年7月4日
17	都農町 600	ホッケー		2026年度 全日本社会人ホッケー選手権大会	600	都農町藤見公園ホッケー場 都農町藤見公園西側多目的広場	令和8年10月10日	令和8年10月14日
18	川南町 (1,033)	軟式野球		第30回 西日本軟式野球選手権大会	(1,033)	川南町運動公園野球場	令和8年10月31日	令和8年10月31日
19	門川町 (1,033)	軟式野球		第30回 西日本軟式野球選手権大会	(1,033)	門川海浜総合公園野球場	令和8年10月31日	令和8年11月1日
		ソフトボール		開催しない				
20	美郷町 (1,269)	バスケットボール		第57回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会	(1,269)	美郷町北郷総合交流センター	令和9年2月19日	令和9年2月20日
21	高千穂町 132	剣道		第76回西日本各県対抗剣道大会	132	高千穂町武道館	令和8年6月14日	令和8年6月14日
22	日之影町 358	なぎなた		第68回都道府県対抗なぎなた大会	358	日之影町立日之影中学校体育館	令和8年5月23日	令和8年5月24日
23	五ヶ瀬町 188	相撲		第64回全国教職員相撲選手権大会	188	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館 相撲場	令和8年8月23日	令和8年8月23日
24	熊本県熊本市 48	水泳	飛込	令和8年度 全九州高等学校体育大会 第55回全九州高校総体飛込競技	48	熊本市総合屋内プール アクアドームくまもと	令和8年7月11日	令和8年7月12日
25	鹿児島県 湧水町 145	カヌー	スラローム フィールド ウォーター	日本選手権大会 令和8年度日本カヌーワールドウォーター選手権大会 2026カヌー・スラロームジャパンカップキョクヨーシリーズ最終戦 2026カヌー・ワールドウォーター・ジャパンカップ最終戦	145	湧水町轟の瀬特設カヌー競技場	令和8年9月19日	令和8年9月20日
全36競技 参加見込合計(人)					27,436			

日本のひなた宮崎 国スポ 競技別リハーサル大会〔日程順〕

注1：参加見込数（人）は、選手、役員団（本県分含む）の人数である。

令和8年1月時点

注2：複数会場で開催される競技については、全体の合計数であり、各会場地毎の数は未定である。

競技日程		競技・種目名	市町村名	大会名	参加見込数 (人)	競技会場名
開始日	終了日					
令和8年5月23日	令和8年5月24日	なぎなた	日之影町	第68回都道府県対抗なぎなた大会	358	日之影町立日之影中学校体育館
令和8年5月小計					358	
令和8年6月6日	令和8年6月6日	水泳	宮崎市	日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2026九州各県予選	58	パーソルアクアパーク宮崎
令和8年6月13日	令和8年6月14日	柔道	延岡市	厚生労働大臣杯争奪 第76回全日本実業柔道団体対抗大会	810	アスリートタウン延岡アリーナ
令和8年6月13日	令和8年6月14日	弓道	串間市	第73回全日本勤労者弓道選手権大会	519	串間市総合運動公園特設弓道会場
令和8年6月14日	令和8年6月14日	剣道	高千穂町	第76回西日本各県対抗剣道大会	132	高千穂町武道館
令和8年6月20日 6月22日は休養日	令和8年6月23日	ラグビー フットボール	15人制 宮崎市	令和8年度全九州高等学校体育大会 第79回全九州高等学校ラグビーフットボール競技大会	577	ひなた宮崎県総合運動公園ラグビー場 ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場
令和8年6月27日	令和8年6月28日	バレーボール	日向市	第12回全九州ビーチバレーボールジュニア選手権(岩崎杯)大会	207	お倉ヶ浜海水浴場特設会場
令和8年6月小計					2,303	
令和8年7月11日	令和8年7月12日	水泳	飛込 熊本県 熊本市	令和8年度 全九州高等学校体育大会 第55回全九州高校総体飛込競技	48	熊本市総合屋内プール アクアドームくまもと
令和8年7月17日	令和8年7月19日	テニス	宮崎市	第49回全日本都市対抗テニス大会	516	ひなたTENNIS PARK MIYAZAKI
令和8年7月19日	令和8年7月20日	アーチェリー	高原町	西日本少年アーチェリー大会	188	高原町総合運動公園多目的芝生広場
令和8年7月小計					752	
令和8年8月1日	令和8年8月2日	ソフトテニス	都城市 宮崎市	男子第71回・女子第70回 全日本実業団ソフトテニス選手権大会	1,668	都城市運動公園庭球場 宮崎市生目の社運動公園テニスコート 宮崎市清武総合運動公園第2テニスコート
令和8年8月7日	令和8年8月9日	水泳	競泳 宮崎市	第73回全国国公立大学選手権水泳競技大会	1,372	パーソルアクアパーク宮崎
令和8年8月8日	令和8年8月10日	ハンドボール	綾町	第31回ジャパンオープンハンドボールトーナメント	1,251	綾てるはドーム
令和8年8月8日	令和8年8月11日		宮崎市			宮崎市総合体育館 宮崎市佐土原体育館
令和8年8月8日	令和8年8月9日	ライフル 射撃	CFP 宮崎市	令和8年度全国センター・ファイア・ピストル射撃競技大会	145	宮崎県警察学校射撃場
令和8年8月21日	令和8年8月23日	陸上競技	都城市	第81回九州陸上競技選手権大会	2,804	KUROKIRI STADIUM (宮崎県山之口陸上競技場)
令和8年8月22日	令和8年8月23日	体操	トランポリン 小林市	宮崎オープン2026トランポリン競技選手権大会	185	(仮称) 健幸のまちづくり拠点施設
令和8年8月22日	令和8年8月24日	セーリング	日南市	高松宮妃記念杯第72回全日本実業団ヨット選手権大会 第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 2026全日本セーリング選手権大会	657	日南市大堂津特設セーリング会場
令和8年8月23日	令和8年8月23日	相撲	五ヶ瀬町	第64回全国教職員相撲選手権大会	188	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館 相撲場
令和8年8月小計					8,270	
令和8年9月6日	令和8年9月6日	銃剣道	三股町	日本のひなた宮崎 銃剣道競技 リハーサル大会	127	三股町武道体育館
令和8年9月11日	令和8年9月12日	自転車	トラックレース 宮崎市	第61回全国都道府県対抗自転車競技大会	636	ひなたペロドローム宮崎
令和8年9月12日	令和8年9月13日	ソフトボール	延岡市	皇后盃 第78回全日本総合女子ソフトボール選手権大会	985	西階公園野球場
令和8年9月12日	令和8年9月14日		宮崎市			宮崎市清武総合運動公園SOKKENスタジアム 宮崎市清武総合運動公園第2野球場
令和8年9月12日	令和8年9月13日		日向市			お倉ヶ浜総合運動公園野球場
令和8年9月13日	令和8年9月13日	自転車	ロードレース 串間市	第61回全国都道府県対抗自転車競技大会	817	串間市特設ロードレースコース
令和8年9月19日	令和8年9月21日	バレー ボール	6人制 延岡市	令和8年度天皇杯・皇后杯JVA全日本バレーボール選手権大会 九州ブロックラウンド	749	アスリートタウン延岡アリーナ メインアリーナ・サブアリーナ
令和8年9月19日	令和8年9月20日	カヌー	スラローム 鹿児島県 湧水町	日本選手権大会 令和8年度日本カヌーワイルドウォーター選手権大会 2026カヌースラロームジャパンカップキョクヨーシリーズ最終戦 2026カヌーワイルドウォータージャパンカップ最終戦	145	湧水町轟の瀬特設カヌー競技場
令和8年9月20日	令和8年9月20日	水泳	オープンウォーター スイミング 延岡市	OWSすみえカップ2026	207	須美江海水浴場特設会場
令和8年9月27日	令和8年9月27日	トライアスロン	宮崎市	第17回日本スプリントトライアスロン選手権(2026/宮崎)	196	みやざき臨海公園特設会場
令和8年9月小計					3,862	
令和8年10月10日	令和8年10月14日	ホッケー	都農町	2026年度 全日本社会人ホッケー選手権大会	600	都農町藤見公園ホッケー場 都農町藤見公園西側多目的広場
令和8年10月23日	令和8年10月25日	卓球	宮崎市	2026年全日本卓球選手権大会(団体の部)	259	宮崎市総合体育館
令和8年10月24日	令和8年10月26日	サッカー	綾町	第62回全国社会人サッカー選手権大会	1,831	綾緒原サッカー場 綾小田川多目的競技場 綾てるは広場
令和8年10月24.25日	令和8年10月27日		西都市			清水台総合公園多目的広場A面、B面、C面
令和8年10月24.26日	令和8年10月28日		新富町			新富町フットボールセンター いちご宮崎新富サッカー場 富田浜公園
令和8年10月31日	令和8年11月2日	軟式野球	延岡市	第30回 西日本軟式野球選手権大会	1,033	西階公園野球場
令和8年10月31日	令和8年11月1日		日向市			お倉ヶ浜総合公園野球場
令和8年10月31日	令和8年10月31日		高鍋町			高鍋総合運動公園MASUDAスタジアム
令和8年10月31日	令和8年10月31日		川南町			川南町運動公園野球場
令和8年10月31日	令和8年11月1日		門川町			門川海浜総合公園野球場
令和8年10月31日	令和8年10月31日		西都市			西都原運動公園野球場
令和8年10月31日	令和8年11月2日	ライフル 射撃	50m 10m・AP BR・BP 宮崎市	令和8年度全日本社会人スポーツ射撃競技選手権大会・ 全国ジュニアスポーツ射撃競技大会	567	宮崎県ライフル射撃競技場 宮崎市田野体育館
令和8年10月小計					4,290	

日本のひなた宮崎 国スポ 競技別リハーサル大会〔日程順〕

注1：参加見込数（人）は、選手、役員団（本県分含む）の人数である。

令和8年1月時点

注2：複数会場地で開催される競技については、全体の合計数であり、各会場地毎の数は未定である。

競技日程		競技・種目名	市町村名	大会名	参加見込数 (人)	競技会場名	
開始日	終了日						
令和8年11月19日	令和8年11月23日	ウエイトリフティング	小林市	内閣府大臣杯第63回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会 レディースカップ第18回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会	732	小林市文化会館	
令和8年11月21日	令和8年11月23日	ボウリング	宮崎市	第55回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会	334	宮崎エースレーン	
令和8年11月25日	令和8年11月29日	ボクシング	えびの市	第78回全日本社会人ボクシング選手権大会 /第5回全日本女子ジュニアボクシング選手権大会	410	えびの市民体育館	
令和8年11月26日	令和8年11月29日	バドミントン	高鍋町	バドミントンS/JリーグII 2026大会	460	井上スポーツセンター高鍋町総合体育館	
令和8年11月小計					1,936		
令和8年12月18日	令和8年12月20日	フェンシング	国富町	第79回全日本フェンシング選手権大会（団体戦）	900	アリーナくにとみ	
令和8年12月小計					900		
令和9年1月9日	令和9年1月10日	水泳	宮崎市	全日本ジュニア(U17)水球競技選手権大会 ～かしわざき潮風カップ～九州地区予選会	162	パーソルアクアパーク宮崎	
令和9年1月30日	令和9年1月31日	レスリング	日南市	令和8年度第62回全九州高等学校レスリング新人選手権大会	253	日南総合運動公園多目的体育館アリーナ	
令和9年1月小計					415		
令和9年2月13日	令和9年2月14日	バレーボール	6人制	都城市	令和8年度 第37回全九州選抜高等学校バレーボール大会	1,459	早水公園体育文化センター 高城運動公園総合体育館 (仮称) 健康のまちづくり拠点施設 小林市市民体育館 高崎総合運動公園総合体育館
			6人制	小林市			
令和9年2月19日	令和9年2月21日	バスケットボール		都城市	第57回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会	1,269	早水公園体育文化センター 高崎総合公園総合体育館 日向市総合体育館 宮崎県立日向高等学校体育館 美郷町北郷総合交流センター
令和9年2月19日	令和9年2月21日			日向市			
令和9年2月19日	令和9年2月20日			美郷町			
令和9年2月小計					2,728		
令和9年3月20日	令和9年3月21日	体操	競技	延岡市	第43回 全国高等学校体操競技選抜大会	380	アスリートタウン延岡アリーナ
令和9年3月21日	令和9年3月21日	空手道		宮崎市	第11回全九州マスターズ空手道選手権大会	272	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館
令和9年3月24日	令和9年3月25日	体操	新体操	延岡市	第42回 全国高等学校新体操選抜大会	494	アスリートタウン延岡アリーナ
令和9年3月小計					1,146		
令和9年6月12日	令和9年6月13日	馬術		綾町	日本のひなた宮崎馬術競技リハーサル大会	223	綾馬事公苑
令和9年6月小計					223		
令和9年7月3日	令和9年7月4日	スポーツ クライミング	リード ボルダー	木城町	Next Generation Cup 2027 in Kijo	253	木城町体育館 スポーツクライミング特設会場
令和9年7月小計					253		
参加見込合計（人）					27,436		

未定	未定	ローイング		小林市	未定		(仮称) 小野湖特設ローイング競技場
未定	未定	カヌー	スプリント	小林市	未定		(仮称) 小野湖特設カヌー競技場

		バレーボール	6人制	日南市	開催しない		
		ソフトボール		門川町	開催しない		
		弓道	遠的	串間市	開催しない		
		ラグビー フットボール	7人制	宮崎市	開催しない		
		ゴルフ		宮崎市	開催しない		
		高等学校 野球	硬式	日南市	開催しない		
			軟式		開催しない		

マスコットキャラクターデザイン展開形の一部変更について

○修正

1	26市町村マスコットキャラクター展開形（宮崎市）	
	修正前	修正後
		
修正箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・ご当地マスコットキャラクターを「ミッシちゃん」から「みやねこ」に変更。 ・ポスト等の配置・配色はそのまま、波なしの背景に変更。 	
2	26市町村マスコットキャラクター展開形（高原町）	
	修正前	修正後
		
修正箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・ご当地マスコットキャラクター「たかぼー」を新規デザインに変更。 	

美化活動全体計画

1 目的

「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」に向け県民総参加で美化活動に取り組むことで、大会の周知や気運醸成を図るとともに、全国から訪れる選手・監督等の来県者をきれいな街で迎えることを目的とする。

2 美化活動の進め方

(1) 令和 8 年度

① 実施内容

市町村既存のクリーンアップ活動と連携

⇒ クリーンアップ活動参加者にノベルティ（オリジナル軍手）を配布する。

② 実施時期

11月の「美しい宮崎づくり推進強化月間」を基準に、各市町村が定める日程

③ 実施場所

各市町村が定める海岸、河川、道路、公園、居住地周辺等

④ 対象

各市町村の既存のクリーンアップ活動に参加する県民、民間企業、その他団体

[役割分担]

県	市町村国スポ・障スポ 所管課	市町村環境所管課
<ul style="list-style-type: none"> ・ノベルティ制作、市町村へ配布 (大会オリジナル軍手 10,000 双) ・令和 9 年度クリーンアップ活動の実施時期・場所について協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村環境所管課と連携 ・既存のクリーンアップ活動にてノベルティの配布 ・令和 9 年度クリーンアップ活動の実施時期・場所について協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村国スポ・障スポ所管課と連携 ・既存のクリーンアップ活動にてノベルティの配布 ・令和 9 年度クリーンアップ活動の実施時期・場所について協議

(2) 令和 9 年度

① 実施内容

ア 市町村の既存のクリーンアップ活動と連携

・大会に合わせて実施時期及び実施場所を調整する。

・ノベルティ（オリジナル軍手）を配布する。

イ 県主催のクリーンアップ活動

② 実施時期

ア 大会会期及び競技会期に合わせ、数か月～数週間前に実施

イ 年度初め頃

③ 実施場所

ア 各市町村の競技会場及び会場周辺の施設や道路等

イ 大会式典会場等

※ 現時点での想定であり、実施場所については検討を進める。

④ 対象

- ・各市町村の既存のクリーンアップ活動に参加する県民、民間企業、その他団体
- ・県民運動に興味を持ち、参加意欲のある県民等

[役割分担]

県	市町村国スポ・障スポ 所管課	市町村環境所管課
<ul style="list-style-type: none"> ・ノベルティ制作、市町村へ配布 (大会オリジナル軍手10,000双) ・県主催のクリーンアップ活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村環境所管課と連携 ・大会会期、競技会期に合わせクリーンアップ活動の実施時期、場所を移行 ・ノベルティの配布 ・県主催のクリーンアップ活動への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村国スポ・障スポ所管課と連携 ・大会会期、競技会期に合わせクリーンアップ活動の実施時期、場所を移行 ・ノベルティの配布 ・県主催のクリーンアップ活動への参加促進

「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポおもてなし広場」基本計画

1 設置目的

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ（以下「両大会」という。）において、本県を訪れる選手団や来場者の皆さまに、本県及び市町村の個性あふれる豊かな自然や歴史・文化、食の魅力を発信するとともに、県民との心あたたまる交流を深めるため、開・閉会式会場及び県が運営する競技会場で「おもてなし広場」を設置する。

また、県民総参加や共生社会の実現に向け、学生や障がいをもった方々も主体的に企画・運営に携わることで、互いに尊重し、支え合い、感動と学びあふれる交流の場を創出する。

2 設置主体

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会（以下「県」という。）

3 設置場所・設置期間

(1) 日本のひなた宮崎 国スポ

市町村名	式典・競技名	会 場	設置期間
都城市	総合開・閉会式	霧島酒造スポーツランド 都城	令和 9 年 9 月 26 日（日）、 10 月 6 日（水）
熊本県 熊本市	水泳（飛込）	熊本市総合屋内プール アクアドームくまもと	令和 9 年 9 月 10 日（金） ～9 月 12 日（日）
鹿児島県 湧水町	カヌー（スラローム／ワイルドウォーター）	湧水町轟の瀬特設カヌー 競技場	令和 9 年 9 月 10 日（金） ～9 月 13 日（月）

（注 1） 上記以外のおもてなし広場の設置・運営は、会場地市町村が行う。

（注 2） 霧島酒造スポーツランド都城における陸上競技期間中のおもてなし広場の設置・運営は、都城市と協議する。

(2) 日本のひなた宮崎 障スポ

市町村名	式典・競技 (障がい種別)	会 場	設置期間
都城市	開・閉会式	霧島酒造スポーツランド 都城	令和 9 年 10 月 23 日（土） ～10 月 25 日（月）
	陸上競技（身・知）		
都城市	ボッチャ（身）	早水公園 体育文化センター	令和 9 年 10 月 23 日（土） ～10 月 25 日（月） (競技が実施される期間)
	バレーボール（身）		
宮崎市	水泳（身・知）	パーソルアクアパーク 宮崎	
	卓球（身・知・精） ※サウンドテーブル テニスを含む	宮崎市総合体育館 宮崎市中央公民館	
	フライングディスク（身・知）	ひなた宮崎県総合運動 公園ひなた陸上競技場	
	ソフトボール（知）	ひなた宮崎県総合運動 公園運動広場	

市町村名	式典・競技 (障がい種別)	会 場	設置期間
宮崎市	ボウリング (知)	宮崎エースレーン	令和9年10月23日(土) ～10月25日(月) (競技が実施される期間)
延岡市	バスケットボール (知)	アスリートタウン 延岡アリーナ	
	車いすバスケット ボール (身)		
	フットソフトボ ール (知)	西階公園補助グラウン ド	
日南市	バレーボール (知)	日南市北郷体育館	
小林市	バレーボール (精)	(仮称) 健幸のまちづく り拠点施設	
日向市	ブラインドベース ボール (身)	お倉ヶ浜総合公園運動 広場	
高原町	アーチェリー (身)	高原町総合運動公園多 目的芝生広場	
新富町	サッカー (知)	新富町フットボールセ ンター いちご宮崎新富サッ カー場	

(注) 設置期間は、今後決定される各競技の詳細な日程に応じて変更する場合がある。

4 実施内容

(1) 霧島酒造スポーツランド都城 (開・閉会式)

主 な 区 分	内 容 例
関係機関・協賛企業等出店	日本スポーツ協会・日本パラスポーツ協会・協賛企業・特別協賛企業の出店、県・市町村のPRブース、ふるまい等の実施
その他企業・団体等出店	民間企業・団体等のスポーツ用品やお土産等販売、高等学校及び特別支援学校、障がい福祉サービス事業所等の製品展示・販売
特産品販売	特産品や郷土料理、ご当地グルメ等の販売
その他	休憩スペース、映像放映等の実施、トイレ

(2) (1)以外の競技会場

内 容
(1)を基本に、飲食物や特産等の販売やふるまい等の実施

5 開・閉会式の来場者想定数

	区 分	来場者想定数 (単位：人)
国 ス ポ	総合開会式（令和9年9月26日（日））	20,000
	総合閉会式（令和9年10月6日（水））	11,000
	国スポ合計	31,000
障 ス ポ	開会式（令和9年10月23日（土））	10,000
	競 技（令和9年10月24日（日））	6,700
	閉会式（令和9年10月25日（月））	11,000
	障スポ合計	27,700

先催県4県（茨城県、鹿児島県、佐賀県、滋賀県）の広場の平均来場者数をベースに算定

6 留意事項

おもてなし広場は、誰もが親しみやすく、くつろげる空間となるように、バリアフリーや荒天等に配慮した整備を行うとともに、広場に集まった方々の交流が深まるような運営を目指す。

7 スケジュール

時 期	内 容
令和7年 5月	広報・県民運動専門委員会での素案説明
令和8年 1月	おもてなし広場基本計画（案）審議、決定
令和8年 4月～	広場レイアウト、設置ブース数、売店等設置運営要項（素案）作成
令和8年 5月～	出展意向調査（高等学校、特別支援学校、大学等）、出店料等検討、出店意向調査（県・市町村、関係機関等）
令和8年11月～	売店等設置運営要項（案）審議、決定 出店意向調査（協賛企業等）
令和9年 3月～	出店意向調査（民間企業等）
令和9年 5月～6月	出店意向取りまとめ
令和9年 7月	出店者説明会
令和9年 9月	広場設置、運営

【各ブースイメージ】

(1) 霧島酒造スポーツランド都城

協賛企業



市町村PR



スポーツ用品・土産品



障がい福祉サービス事業所等



特産品



ご当地グルメ



休憩所



ふるまい



(2) 各競技会場

土産品等



飲食等



日本のひなた宮崎 障スポ 競技開始式・表彰式実施要項

1 趣旨

この要項は、日本のひなた宮崎 障スポの競技開始式及び表彰式の実施について、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱（平成 12 年 1 月 5 日 公益財団法人日本パラスポーツ協会）の定めているもののほか、必要な事項を定める。

2 実施方法

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会及び競技運営主管団体が会場地市町村と協議のうえ、協力して実施する。

3 実施内容

競技開始式及び表彰式の内容は概ね次のとおりとするが、会場の特性や選手のコンディション等の諸条件に配慮し、必要に応じて簡素に行うものとする。

(1) 競技開始式

- ア 開式通告
- イ 選手・役員入場
- ウ 開会宣言
- エ あいさつ
- オ 歓迎のことば
- カ 選手宣誓
- キ 閉式通告
- ク 選手・役員退場

(2) 表彰式

- ア 開式通告
- イ 選手・役員入場
- ウ 成績発表
- エ 表彰
- オ あいさつ
- カ 閉会宣言
- キ 閉式通告
- ク 選手・役員退場

4 表彰

全国障害者スポーツ大会開催基準要綱第 15 項による。

5 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は、関係者が協議の上決定する。

<参考>

全国障害者スポーツ大会基準要綱第 15 項

- (1) 個人競技については、各組単位で、原則として同一区分毎に 1 位から 3 位までの選手にメダルを授与する。陸上競技における視覚障害選手の伴走者及びボッチャにおけるランプオペレーターについても、選手と同様にメダルを授与する。
- (2) 団体競技については、優勝チームに賞状、優勝杯等、2 位、3 位のチームに賞状、1 位から 3 位までの選手にメダルを授与する。

日本のひなた宮崎 障スポ 資格審査実施要項

1 趣旨

この要項は、日本のひなた宮崎 障スポの出場種目や組み合わせの決定を公平かつ円滑に行うため、参加選手の資格審査の実施について必要な事項を定めるものとする。

2 実施主体

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会が、専門的な資格や知識・経験を有する者の協力を得て実施する。

3 資格審査対象者

参加選手全員

4 審査内容

参加申込書に基づき、資格審査対象者について次の審査を行う。

- (1) 全国障害者スポーツ大会開催基準要綱に定める参加資格の条件を満たしていること。
- (2) 出場申込みのあった競技・種目が、全国障害者スポーツ大会競技規則に定める年齢区分及び障害区分に適合していること。

5 資格審査を行う者

- (1) 障がい者スポーツに精通した医師、理学療法士、作業療法士等
- (2) 公益財団法人日本パラスポーツ協会技術指導員
- (3) 宮崎国スポ・障スポ実行委員会事務局

6 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は、関係者が協議の上決定する。

<参考>

審査スケジュール

- (1) 令和 9 年 1 月 宮崎障スポリハ大会出場者の資格審査
- (2) 令和 9 年 7 月 宮崎障スポ本大会出場者の資格審査

日本のひなた宮崎 障スポ 情報保障体制整備基本方針

1 趣旨

日本のひなた宮崎 障スポ（以下「大会」という。）において、大会参加者及び観覧者をはじめすべての人が、障がいのあるなしに関わらず、大会や競技の情報を得ることができるよう、情報保障を行うための体制の整備について、基本的な事項を定めるものとする。

2 整備体制

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会（以下「県実行委員会」という。）が、大会の情報保障体制を整備する。

なお、県実行委員会は整備にあたり、会場地市町村、競技運営主管団体及びその他の関係団体と相互に連絡調整を行い、協力を図る。

3 整備内容

県実行委員会は、情報保障環境整備のため、以下のボランティア配置や機器等の設置に配慮する。

なお、整備箇所等については、会場等の状況、大会参加者及び観覧者の特性、経費等を総合的に勘案して選定する。

(1) 主に視覚障がい者への情報保障

ア 点字・音声案内

施設等の情報を伝えるため、点字案内板や音声誘導装置等を会場に設置する。

イ デジタル音声配信等による実況放送

競技の経過等が分かるよう、大会運営上必要と認められる競技会場において、デジタル音声配信等による実況放送を実施する。

ウ 点字・音声資料の作成

視覚障がい者に配慮した大会関係資料等を作成する。

(2) 主に聴覚障がい者への情報保障

ア 手話・要約筆記ボランティア

会場等に、手話・要約筆記ボランティアを配置する。

イ 映像装置

手話・要約筆記ボランティアによる情報保障活動が効果的かつ効率的に行えるよう、手話及び文字情報を表示するための映像装置を、大会運営上必要と認められる競技会場に設置する。

ウ 補聴援助システム

場内放送の内容等を補聴器や人工内耳等で聞き取りやすくするために、大会運営上必要と認められる競技会場に、補聴援助機器等を設置する。

エ 情報保障席

会場内の観覧者席において、上記ア、イ及びウによる複合的な情報保障が得られるよう、聴覚障がい者のための優先席として情報保障席を設置する。

(3) その他

ア 実施本部員等によるサポート

実施本部員、大会運営ボランティアにおいても、必要に応じて、聴覚障がい者に対して筆談等による情報保障を行うよう努めるものとする。

また、この取組について広く周知する。

イ サイン表示・ふりがな表記

すべての人に分かりやすい情報提供を行うため、案内看板等に大きなピクトグラム等による表示、ふりがな表記を行うとともに、UD フォントを使用し、平易な文章を用いる。

ウ ICTを活用した大会情報の提供

大会参加者及び観覧者が、大会関連情報等を得られるよう、大会ホームページやSNS等を活用し配信する。

4 その他

この方針に定めるもののほか、必要な事項は、関係者が協議の上決定する。

日本のひなた宮崎 国スポ 宿泊要項

1 趣旨

この要項は、第81回国民スポーツ大会本大会の正式競技及び特別競技に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下「大会参加者」という。）の宿泊及び食事に関して、必要な事項を定める。

2 宿泊業務の方針

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会（以下「県委員会」という。）及び会場地市町村実行委員会（以下「会場地委員会」という。）は、日本のひなた宮崎 国スポ合同配宿本部（以下「合同配宿本部」という。）を設置し、緊密な連携のもと、相互に十分な連絡調整を行うとともに、関係する機関及び団体の協力を得て、大会参加者の宿泊について万全を期する。

3 宿泊業務の実施

合同配宿本部は、競技団体、宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合等の関係団体、宿泊施設等と連絡調整の上、大会参加者の宿舎の選定、確保、配宿等に関する業務に当たるとともに、これに関する紛議が生じた場合は、調停及びあっせんを行う。

4 宿泊対象者

この要項に定める宿泊対象者は、大会参加者のうち次に掲げる者で合同配宿本部に宿泊申込みのあった者とする。

- (1) 選手・監督、都道府県選手団本部役員、大会役員、特別招待者、競技会役員、競技役員及び視察員並びに都道府県選手団に属するその他の者
- (2) 報道員及びその他大会運営に参加する者で、県委員会が宿泊を必要と認めた者

5 宿舎の選定及び確保

宿舎の選定及び確保について、次により行うものとする。

- (1) 大会参加者の宿泊は、原則として会場地市町村内の旅館等（旅館業法（昭和23年法律第138号）の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。
- (2) 会場地市町村内の旅館等で大会参加者の収容が困難な場合は、その地域の実情に応じ、近隣市町村（原則として県内）の旅館等及び宿泊可能な公共施設等を利用する。
- (3) 風紀上、衛生上、安全対策上等の理由により、支障があると認められる施設は宿舎として利用しない。

6 配宿

大会参加者の配宿に当たっては、合同配宿本部が次の事項に留意して行うものとする。

- (1) 選手・監督の宿舎は、競技会場及び練習会場までの交通状況、環境等に配慮し、都

道府県別、競技別、種別及び男女別に考慮して配宿する。

- (2) 選手・監督の宿舎は、原則として都道府県選手団本部役員、競技会役員及び競技役員とは別にする。
- (3) 競技会役員及び競技役員については、できる限り同一又は近隣の宿舎に配宿する。
- (4) 1人の宿泊に要する広さは、3.3㎡（2畳）以上とする。

7 宿泊料金等

大会参加者の宿泊料金等は次のとおりとする。

(1) 宿泊

宿泊とは、入宿日の15時から出発日の10時までの客室の使用をいうものとし、4(1)に掲げる者の食事提供は、原則として1泊2食とする。ただし、競技特性や宿舎の状況により合同配宿本部が認めた場合は、この限りでない。

(2) 宿泊料金

宿泊料金は下表の料金範囲内とする。ただし、大会役員等が、定員未満での利用などを希望する場合は、この料金範囲を超えることがある。

宿泊区分	宿泊料金（税抜）	備考
1泊2食	1,600円～20,000円	通常のサービス・奉仕料及び冷暖房料を含む
1泊夕食	1,440円～18,000円	
1泊朝食	1,280円～16,000円	
素泊まり	1,120円～14,000円	

- ※1 1泊2食の宿泊料金は、1,600円の次の金額は2,000円とし、これを超える金額は500円刻みとする。
- ※2 1泊夕食料金は、1泊2食料金の90%相当額とする。
- ※3 1泊朝食料金は、1泊2食料金の80%相当額とする。
- ※4 素泊まり料金は、1泊2食料金の70%相当額とする。

(3) 入湯税及び宿泊税

入湯税及び宿泊税（導入している地域のみ）については、外税とし、宿泊料金とは別に支払う。

(4) 欠食控除

欠食控除の適用は、朝食及び夕食ともに4日前までに申し出た場合に限る。

ただし、競技の進行状況により、やむを得ず夕食の欠食を申し出る場合は、宿泊責任者（宿泊申込代表者が宿泊者の中から定めた者。以下同じ。）が宿舎と協議の上、決定する。

ア 夕食を欠食した場合の控除額

当該施設の1泊2食相当の宿泊料金のうち、20%とする。

イ 朝食を欠食した場合の控除額

当該施設の1泊2食相当の宿泊料金のうち、10%とする。

(5) 休憩料金

入宿日の15時以前及び出発日の10時以降に客室を利用する場合の休憩料金は、各宿舎の規定に基づくものとする。

(6) 入浴料

宿泊者が宿舎からの要請により公衆浴場等を利用した場合の入浴料は、当該宿舎が負担する。

(7) 宿泊取消料

ア 大会参加の取消しや競技敗退等、やむを得ない理由により宿泊を取り消す場合の宿泊取消料は、宿泊取消の申出をした日に応じて、取り消す泊数全てについて各宿泊施設の宿泊取消料規定を適用し、算定する。

なお、宿泊取消料規定の上限は、下表のとおりとする。

宿泊取消の申出区分	宿泊取消料	備考
宿泊予定日の9日前まで	不要	素泊まり又は欠食で申し込んだ場合は、その料金(税抜)を宿泊料金とする。
宿泊予定日の8日前から 宿泊予定日の4日前まで	宿泊料金(税抜)の20%	
宿泊予定日の3日前から 宿泊予定日の前日まで	宿泊料金(税抜)の50%	
宿泊予定日当日	宿泊料金(税抜)の100%	

(注)・荒天等による交通機関の不通で、宿舎への到着が困難な場合は、宿泊責任者が宿舎と協議して宿泊取消料を決定する。

- ・入宿前後に関わらず、災害等(地震、風水害、感染症等)により、競技会(種目・種別)が中止となった場合又は荒天等による競技会会期の短縮決定により、宿泊取消を申し出た場合は、取り消す泊数に関わらず、一人につき1泊分の宿泊取消料のみとする。

イ 宿泊申込後、変更又は取消しの申出がない場合の宿泊取消料は、上記アの定めに関わらず、宿泊料金(税抜)の全額とする。

ウ 宿泊取消料は、宿泊責任者又は本人が当該宿舎へ支払うものとする。

また、宿泊責任者又は本人が宿泊取消料を支払うことができない場合は、宿泊申込代表者が最終責任を負う。

(8) 宿泊料金等の精算

宿泊料金等は、原則として宿泊責任者が、各宿舎の指定する方法により精算する。

(9) 宿泊料金等の適用期間

宿泊料金等の適用期間は、令和9年9月5日(日)15時から令和9年10月7日(木)10時までとする。

ただし、選手・監督、競技会役員及び競技役員においては、原則として、参加する競技の開始日の4日前の15時から、競技終了翌日の10時までとする。

8 宿泊の申込み

(1) 宿泊の申込みは、別に定める宿泊事務実施要領(以下「実施要領」という。)により、宿泊申込代表者がインターネットを利用して合同配宿本部に行うものとする。

ただし、インターネットシステムの異常等により、インターネットによる申込みが困難な場合は、宿泊申込書に必要事項を記入の上、ファクシミリ又は郵便により行うことを認めるものとする。

なお、効力の発生は、インターネットについては受信時、ファクシミリ等では到達

した日とする。

また、限られた宿泊施設を有効活用して配宿を行うことから、選手・監督の個人都合による宿舎、部屋割り等に係る希望は認めない。

- (2) 選手・監督及び都道府県選手団本部役員にあっては、第81回国民スポーツ大会実施要項（以下「大会実施要項」という。）に定める人員を超える宿泊申込みは認めない。
- (3) インターネット等による宿泊申込みは、実施要領に定める申込期限までに行うものとする。
- (4) 選手・監督及び都道府県選手団本部役員については、申込期限までに宿泊申込みがなかった場合は、大会実施要項の定めにより、大会への参加を認めない。

9 宿泊の変更及び取消し

- (1) 大会参加者の宿舎決定後の宿泊取消しについては、限られた宿泊施設を有効活用して配宿を行うことから、大会参加の取消し等の特別な事情のない限り認めない。

なお、不適切な対応が発生した場合は、日本スポーツ協会の国民スポーツ大会委員会において報告する。

- (2) 入宿前の宿泊人数又は宿泊日程の変更及び取消しについては、実施要領により、宿泊申込代表者がインターネットを利用して速やかに合同配宿本部に行うものとする。

ただし、インターネットシステムの異常等により、インターネットによる変更及び取消しが困難な場合は、ファクシミリ又は郵便により行うことを認めるものとし、この場合にあっても、速やかに合同配宿本部へ連絡するものとする。

なお、その効力の発生は、インターネットについては受信時、ファクシミリ等では到達した日とする。

- (3) 入宿後の宿泊人数の変更及び取消しについては、宿泊責任者が直接当該宿舎へ速やかに申し出るものとし、その効力の発生は、当該申し出があった日とする。宿舎は、変更又は取消しを受け付けた場合、精算後に合同配宿本部に報告する。
- (4) 合同配宿本部が指定する宿舎の変更は、原則として認めない。任意に変更したことによって生じた全ての損失は、任意に変更した者がその責任を負う。

10 食事

- (1) 大会参加者に提供する食事は、安全・安心かつ大会参加者が最良のコンディションで活躍できるよう、栄養面や衛生面を考慮するものとする。また食材については、大会期間中に入手しやすく、かつ食事料金も考慮の上、利用可能なものを選定する。なお、宮崎県産の食材を積極的に活用する。
- (2) 昼食については、原則として大会参加者の希望により、県委員会又は会場地委員会が別に定める方法によりあっせんするものとする。

なお、金額については、次のとおりとする。

区分	料金
昼食弁当（飲料を含む）	1,250 円以内（税抜）

11 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、宿泊業務の実施に関して必要な事項は、実施要領に定める。
- (2) 宿泊料金、昼食弁当料金ともに、消費税及び地方消費税の税率に変更があった場合は、開催時の税率を適用するものとする。

日本のひなた宮崎 障スポ 宿泊要項

1 趣旨

この要項は、第 26 回全国障害者スポーツ大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下「大会参加者」という。）の宿泊及び食事に関して、必要な事項を定める。

2 宿泊業務の方針

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会（以下「県委員会」という。）は、大会参加者が心身ともに良好な状態で大会に臨めるよう、関係する機関及び団体の協力を得て、大会参加者の宿泊について万全を期する。

3 宿泊業務の実施

県委員会は、宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合等の関係団体、宿泊施設等と連絡調整の上、大会参加者の宿泊施設の選定、確保、配宿及び宿泊環境の整備に関する業務に当たるとともに、これに関する紛議が生じた場合は、調停及びあっせんを行う。

4 宿泊対象者

この要項に定める宿泊対象者は、大会参加者のうち次に掲げる者で県委員会に宿泊申込みのあった者とする。

- (1) 選手・監督及び都道府県・指定都市選手団役員（以下「選手団」という。）
- (2) 大会役員、特別招待者、競技役員、視察員、報道員及びその他大会運営に参加する者で、県委員会が宿泊を必要と認めた者

5 宿泊施設の選定及び確保

宿舍の選定及び確保については、次により行うものとする。

- (1) 大会参加者の宿舍は、原則として会場地市町内の旅館等（旅館業法（昭和 23 年法律第 138 号）の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。
- (2) 会場地市町内の旅館等で宿泊対象者の収容が困難な場合は、その地域の実情に応じ、近隣市町村（原則として県内）の旅館等を利用する。
- (3) 風紀上、衛生上、安全対策上の理由により、支障があると認められる施設は宿舍として利用しない。

6 配宿

大会参加者の配宿に当たっては、次の事項に留意して行うものとする。

- (1) 選手団の一体性に配慮し、個人競技、団体競技いずれも選手団ごとに同一の宿舍に配宿するよう努める。
- (2) 移動にかかる負担軽減に配慮し、参加する競技が実施される会場へ移動しやすい宿舍に配

宿するよう努める。

(3) 障がい者にとって利用しやすい宿舎に配宿するよう努める。

7 仮設物の設置

障がい者の宿泊に必要なスロープ等の仮設物を設置する必要がある場合は、当該宿舎と協議の上、県委員会が設置する。

8 宿泊料金等

大会参加者の宿泊料金等は、次のとおりとする。

(1) 宿泊

宿泊とは、入宿日の 15 時から出発日の 10 時までの客室の使用をいうものとし、4

(1) に掲げる者は、原則として1泊2食とする。ただし、競技特性や宿舎の状況により県委員会が認めた場合は、この限りでない。

(2) 宿泊料金

宿泊料金は下表の料金範囲内とする。(日本のひなた宮崎 国スポ宿泊料金を参考に設定)ただし、大会役員等が、定員未満での利用等を希望する場合は、この料金範囲を超えることがある。

宿泊区分	宿泊料金 (税抜)	備考
1泊2食	1,600 円～20,000 円	通常のサービス・奉仕料 及び冷暖房料を含む
1泊夕食	1,440 円～18,000 円	
1泊朝食	1,280 円～16,000 円	
素泊まり	1,120 円～14,000 円	

※1 1泊2食料金は、1,600 円の次の金額は 2,000 円とし、これを超える金額は 500 円刻みとする。

※2 1泊夕食料金は、1泊2食料金の 90%相当額とする。

※3 1泊朝食料金は、1泊2食料金の 80%相当額とする。

※4 素泊まり料金は、1泊2食料金の 70%相当額とする。

(3) 入湯税及び宿泊税

入湯税及び宿泊税 (導入している地域のみ) については外税とし、宿泊料金とは別に支払う。

(4) 欠食控除

欠食控除の適用は、朝食、夕食ともに4日前までに申し出た場合に限る。ただし、競技の進行状況により、やむを得ず夕食の欠食を申し出る場合は、宿泊責任者 (宿泊申込代表者が宿泊者の中から定めた者。以下同じ。) が宿舎と協議の上、決定する。

ア 夕食を欠食した場合の控除額

当該施設の1泊2食相当の宿泊料金のうち、20%とする。

イ 朝食を欠食した場合の控除額

当該施設の1泊2食相当の宿泊料金のうち、10%とする。

(5) 休憩料金

入宿日 15 時以前及び出発日の 10 時以降に客室を使用する場合の休憩料金は、各宿舎の規定に基づくものとする。

(6) 入浴料

宿泊者が宿舎からの要請により公衆浴場等を利用した時の入浴料は、当該宿舎が負担する。

(7) 宿泊取消料

ア 大会参加の取消しや、やむを得ない理由により宿泊を取り消す場合の宿泊取消料は、宿泊取消の申出をした日に応じて、取り消す泊数全てについて各宿泊施設の宿泊取消料規定を適用し、算定する。なお、宿泊取消料規定の上限は、下表のとおりとする。

申出区分	宿泊取消料	備考
宿泊予定日の9日前まで	不要	素泊まり又は欠食で申し込んだ場合は、その料金(税抜)を宿泊料金とする。
宿泊予定日の8日前から 宿泊予定日の4日前まで	宿泊料金(税抜)の20%	
宿泊予定日の3日前から 宿泊予定日の前日まで	宿泊料金(税抜)の50%	
宿泊予定日当日	宿泊料金(税抜)の100%	

(注)・ 荒天等による交通機関の不通で、宿舎への到着が困難な場合は、宿泊責任者が宿舎と協議して宿泊取消料を決定する。

- ・ 入宿前後に関わらず、災害等(地震、風水害、感染症等)により、競技会(種目・種別)が中止となり、宿泊取消を申し出た場合は、取り消した泊数に関わらず、一人につき1泊分の取消料のみとする。

イ 宿泊申込後、変更又は取消しの申し出がない場合の宿泊取消料は、上記アの定めに関わらず、宿泊料金(税抜)の全額とする。

(8) 宿泊料金等の精算

宿泊料金等は、別に定める方法により、県委員会が指定する期日までに支払うものとする。

(9) 宿泊料金等の適用期間

当該宿泊料金等の適用期間は、令和9年10月21日(木)15時から令和9年10月26日(火)10時までとする。

9 宿泊の申込み

(1) 宿泊の申込みは、別に定める宿泊事務実施要領(以下「実施要領」という。)により、宿泊申込代表者がインターネットにより県委員会に申込みを行うものとする。

ただし、インターネットシステムの異常等により、インターネットによる申込みが困難な場合は、宿泊申込書に必要事項を記入の上、ファクシミリ又は郵送により申込みことを認めるものとする。

なお、効力の発生は、インターネットについては受信時、ファクシミリ等では到達した日とする。

(2) 宿泊申込代表者は、宿泊申込みについて最終的な責任を負うものとする。

(3) 宿泊責任者は、入宿後の宿舎と宿泊者との連絡調整を行う。

- (4) インターネット等による宿泊申込みは、実施要領に定める申込期限までに行うものとする。

10 宿泊の変更及び取消し

- (1) 入宿前の宿泊人数又は宿泊日程の変更及び取消しについては、実施要領により、宿泊申込代表者がインターネットを利用して速やかに県委員会へ行うものとする。ただし、インターネットシステムの異常等により、インターネットによる変更や取消しが困難な場合は、ファクシミリ又は郵送により行うことを認めるものとし、この場合にあっては速やかに県委員会に連絡するものとする。

なお、効力の発生は、インターネットについては受信時、ファクシミリ等では到達した日とする。

- (2) 入宿後の宿泊人数の変更及び取消しは、選手団については、宿泊責任者が直接当該宿舎へ申し出るものとし、その効力の発生時期は当該申出があった日とする。また、選手団以外の宿泊対象者については、宿泊責任者又は宿泊者本人が同様に申し出るものとし、その効力の発生は、その申し出があった日とする。宿舎は、変更又は取消しを受け付けた場合、県委員会に報告する。
- (3) 県委員会が指定した宿舎の変更は、原則として認めない。なお、任意に変更したことによって生じた全ての損失は、任意に変更した者がその責任を負う。

11 食事

- (1) 大会参加者に提供する食事は、安全・安心かつ大会参加者が最良のコンディションで活躍できるよう、栄養面や衛生面を考慮するものとする。また食材については、大会期間中に入手しやすく、かつ食事料金も考慮の上、利用可能なものを選定する。なお、宮崎県産の食材を積極的に活用する。

- (2) 昼食については、原則として大会参加者の希望により、県委員会が別に定める方法によりあっせんするものとする。

なお、金額については、次のとおりとする。

区分	料金
昼食弁当（飲料を含む）	1,250円以内（税抜）

12 その他

- (1) 宿舎での食事、入浴等に特別な介助を要する者の介助については、その者の所属する選手団等の責任において行うものとする。
- (2) この要項に定めるもののほか、宿泊業務の実施に関して必要な事項は、実施要領に定めるものとする。
- (3) 宿泊料金、昼食弁当料金ともに、消費税及び地方消費税の税率に変更があった場合は、開催時の税率を適用するものとする。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 医療救護実施要領

1 趣旨

この実施要領は、第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会医療救護要項に基づき、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ（以下「両大会」という。）において、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会（以下「県」という。）が実施する医療救護に関して、必要な事項を定めるものとする。

2 両大会の総合開・閉会式会場等における医療救護

(1) 救護本部の設置

- ア 救護本部設置計画を作成し、人員の配置及び必要な物品について配備するとともに、通信連絡体制を整備する。
- イ 救護班及び移動救護班と連絡調整を行い、医療救護業務を総括する。
- ウ 医療機関に搬送する必要がある傷病者が発生した場合は、直ちに救急自動車等の出動を要請し、搬送措置を講じる。
- エ 開設時間は、会場の開場（開門）1 時間前から式典終了 30 分後までとし、必要に応じて変更する。
- オ 当日の業務終了後、「処置記録兼診療依頼書(様式第 1 号)」、「移動救護対応記録(様式第 2 号)」、「取扱傷病者一覧表(様式第 3 号)」をとりまとめる。
- カ 搬送した傷病者については、その後の症状経過を把握するよう努める。
- キ 会期に応じて、会場地域の休日診療・救急当番一覧表を作成する。

(2) 救護所の設置

- ア 救護所の設置計画及び救護班配置計画を作成し、効果的な場所に、適切な数の救護所の設置及び救護班の配置をするとともに、通信連絡体制を整備する。
- イ 内部は、衛生管理に留意するとともに、外部から見えないように配慮する。
- ウ 救護班には、必要に応じて担当区域内を巡回する移動救護班を編成する。
- エ 救護所及び移動救護班に必要な医薬品、医療器具、AED 等を決定し、調達及び配備する。なお、ドーピング禁止物質を含有する医薬品は、配備しない。
- オ 開設時間は、会場の開場（開門）1 時間前から式典終了 30 分後までとし、必要に応じて変更する。
- カ 救護所出入口付近に救護所を明示する看板等を設置し、必要な場所に案内標識を設置する。

(3) 応急処置の実施

救護班及び移動救護班は、傷病者の早期発見及び応急処置を行うとともに、以下の事務処理を行う。なお、移動救護班は、必要な場合、最寄りの救護所へ傷病者を搬送する。

- ア 救護班は、様式第 1 号及び様式第 3 号に所定の事項を記載する。
- イ 移動救護班は、様式第 2 号及び様式第 3 号に所定の事項を記載する。
- ウ 傷病者を医療機関に搬送する必要がある場合は、救護本部に連絡する。
- エ 医療機関に搬送する傷病者又は関係者に対し、様式第 1 号の写しを交付する。
- オ 当日の業務終了後、様式第 1 号～様式第 3 号を救護本部に提出する。

(4) 救急自動車の配備

関係機関と協議し、配備する際には、適切な場所に、適切な台数を配備する。

(5) 医療機関の確保等

関係団体等と連携し、傷病者が円滑に医療機関を受診できるよう救急医療体制を整える。

3 日本のひなた宮崎 国スポの県外競技会場等並びに日本のひなた宮崎 障スポの競技会場及び練習会場における医療救護

救護所の設置、救護班の業務その他の医療救護に必要な事項については、上記2に準じ、必要な医療救護体制を整備する。

4 県主催の国スポ・障スポ関連イベント会場等における医療救護

イベント内容等に応じ、必要な医療救護体制を整備する。

5 宿舎における医療救護

宿舎の責任者に対し、国スポ・障スポに参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者（以下「国スポ・障スポ参加者等」という。）が宿舎で発病・負傷した場合、医療機関の紹介又は救急自動車の出動要請等を行うとともに、速やかに、県に報告するよう周知徹底を図る。

6 医療救護体制の周知

傷病者発生時に患者への対応が適切に行われるよう、国スポ・障スポ参加者等や宿舎の責任者に対して、以下の方法等により周知を行う。

(1) リーフレット等の作成及び配付・掲示

(2) 関係機関への国スポ・障スポ開催通知の送付

7 業務マニュアルの作成及び研修の実施

本実施要領及び医療救護実施計画に基づき、医療救護に従事する実施本部員等を対象とした業務マニュアルを作成し、研修を実施する。

8 その他

(1) 服装は、医療救護関係者であることが分かるよう配慮する。

(2) 傷病者のプライバシーの保護に努める。

(3) 赤十字標章を使用する場合は、事前に日本赤十字社宮崎県支部の承諾を得ることとし、必要な手続きを行う。

(4) 日本のひなた宮崎 国スポの総合開・閉会式リハーサル、県外競技会等にかかるリハーサル大会、日本のひなた宮崎 障スポの開・閉会式リハーサル及び競技会にかかるリハーサル大会における医療救護については、必要に応じ、この要領に準じて実施する。

(5) この要領に定めるもののほか、医療救護の実施に関して必要な事項は、別に定める。

日本のひなた宮崎 国スポ 会場地市町村医療救護業務指針

1 趣旨

この指針は、第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会 医療救護要項に基づき、日本のひなた宮崎 国スポ（以下「国スポ」という。）において、会場地市町村実行委員会（以下「会場地市町村」という。）が実施する医療救護に関して、必要な事項を定めるものとする。

2 実施体制

会場地市町村は、医療救護業務を実施するため、競技会場に救護所を設置し、救護所には救護班を配置する。また、必要に応じて救護本部を設置し、医療救護業務を総括する。

3 競技会場における医療救護

救護所の設置計画及び救護班の配置計画を作成し、効果的な場所に、適切な数の救護所を設置する。設置にあたっては、当該会場の想定来場者数や諸条件等を考慮し、必要に応じて救護所の複数設置やそれに伴う救護本部の設置、移動救護班の編成も検討・実施する。

(1) 救護班の編成

ア 救護班は、医師・歯科医師・看護師・保健師・アスレティックトレーナー・事務職員等により、必要に応じた班編成とする。

イ 救護班に従事する医師・看護師等の編成については、競技の特性を踏まえ、競技団体と協議のうえ、医療機関・関係団体等の協力を得て行う。

(2) 救護所の設置

ア 救護所は、救護活動及び競技に支障のないよう、競技会場の適切な場所に設置する。

イ 救護所出入口付近には、救護所を明示する看板等を設置する。

ウ 救護所内部は、衛生管理に十分留意するとともに、外部から見えないよう配慮する。

エ 開設時間は、各会場の開場（開門）1 時間前から競技及び表彰式終了 30 分後までとし、必要に応じて変更する。

(3) 医薬品等の配備

救護所には、当該会場の競技特性等を勘案のうえ、必要に応じて医薬品、医療器具、AED、その他の物品を配備するとともに、電話、ファクシミリ等通信機器、コピー機、書類用保管庫（施錠付き）等を配備する。なお、医薬品については、ドーピング禁止物質を含有する医薬品は配備しない。

(4) 応急処置

救護班及び移動救護班は、傷病者の早期発見及び応急処置を行うとともに、以下の事務処理を行う。

ア 応急処置を実施した場合、「処置記録兼診療依頼書（参考様式第 1 号）」に所定の事項を記載する。

イ 医療機関に搬送の必要がある傷病者が発生した場合は、直ちに救急自動車等

の出動を要請し、搬送措置を講じる。

(5) 救急搬送

関係機関と協議し、救急自動車を提供する場合には、適切な場所に、適切な台数を配備する。

ア 救護班は、救急自動車等の出動を要請する等の措置を講じた場合は、所定の事項を記載した参考様式第1号の写しを搬送する傷病者又は関係者に交付する。

イ 救急自動車等の出動を要請する等の措置を講じた場合、救護班は、会場地市町村内の実施本部に必要事項を報告する。

ウ イの報告を受けた実施本部は、あらかじめ定めた手順に従い、会場地市町村内の各部署に必要事項を通知し、円滑な救急搬送が妨げられないよう措置を講じる。

(6) 記録・報告等

ア 救護班は、医療機関に搬送した傷病者のその後の病状・経過を把握するよう努めるとともに、必要に応じて日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会（以下、「県」という。）へ報告する。

イ 救護班は、当日の業務終了後、「取扱傷病者一覧表（参考様式第2号）」を作成し、参考様式第1号とともに、会場地市町村内の実施本部に提出する。

ウ 救護班が記載した参考様式第1号は、全救護班員が閲覧等を行えるようファイリングし、個人情報保護に十分配慮のうえ、適切に保管する。

(7) 医療機関の確保等

関係団体等と連携し、傷病者が円滑に医療機関を受診できるよう、あらかじめ医療機関に協力を要請する。また、会期に応じて、各会場地域の休日診療・救急当番一覧表を作成する。

(8) 業務実施マニュアルの作成及び研修の実施

医療救護に従事する実施本部員等を対象とした業務実施マニュアルを作成し、研修を実施する。

ア 会場及び競技の特性を勘案し、競技団体と協議の上、救護班に従事する医師等や地元消防署等の助言・協力を得ながら、救護所の開設時間や班員の従事シフト、救急搬送要請に係る会場地市町村内の役割分担や活動情報の集約方法など、医療救護業務の具体的な進め方を定め、これを共有するための業務実施マニュアルを作成する。

イ 作成した業務実施マニュアルをもとに、必要に応じて実施本部員及び救護班員向けの研修を実施する。

4 練習会場及び会場地市町村主催の大会関連イベント会場等

練習会場及び大会関連イベント等においても、救護対策に万全を期すよう努める。この場合において、医療救護業務の内容は、上記3に準じて実施する。

5 宿舎における医療救護

(1) 宿舎の責任者に対する周知徹底

選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下「国スポ参加者等」という。）が宿舎で発病・負傷した場合、最寄りの医療機関の紹介又は救急自動車の出動要請等を行うとともに、速やかに会場地市町村に報告するよう、宿

舎の責任者に対して、周知徹底を図る。

(2) 搬送情報の把握

傷病者が医療機関に搬送された場合、会場地市町村は宿舍の責任者又は傷病者の関係者から、傷病者の住所・氏名・性別・年齢及び参加区分・傷病の発生時間・発生場所・発生原因及び現在の状況・搬送先の医療機関及び搬送方法等必要な事項を確認する。

6 医療救護体制の周知

傷病発生時に患者への対応が適切に行われるよう、国スポ参加者等や宿舍に対して、会場で負傷した際の手続きや受診可能な医療機関の連絡先、宿舍向けの傷病発生時の取扱いなどの必要な情報について、以下の方法等により周知を行う。

(1) リーフレット等の作成及び配布・掲示

(2) 会場地市町村等のホームページへの掲載

7 県への報告

(1) 国スポ期間中に入院患者が発生した場合は速やかに「入院患者発生速報（参考様式第3号）」により、県に報告する。

(2) 全競技終了後、参考様式第2号を競技会場ごとにとりまとめ、県に報告する。

8 関係機関との連携

会場地市町村は、医療救護業務の実施にあたり、県と相互に連携を図るとともに、医療機関、地元消防署、その他の関係機関等の協力を得て業務を実施する。

9 その他

(1) 服装は、医療救護関係者であることが分かるよう配慮する。

(2) 傷病者のプライバシーの保護に努める。

(3) 赤十字標章を使用する場合は、事前に日本赤十字社宮崎県支部の承諾を得ることとし、必要な手続きを行う。

(4) リハーサル大会における医療救護については、この指針に準じて実施する。

(5) この指針に定めるもののほか、医療救護の実施に関して必要な事項は、別に定める。

日本のひなた宮崎 国スポ 輸送・交通要項

1 趣旨

この要項は日本のひなた宮崎 国スポ正式競技及び特別競技に参加する選手・監督及び大会役員等（以下「大会参加者」という。）並びに一般観覧者の輸送・交通に関して必要な事項を定める。

2 基本方針

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会（以下「県委員会」という。）及び会場地市町村実行委員会（以下「会場地委員会」という。）は、相互に連携し、関係機関及び関係団体等（以下「関係機関等」という。）の協力を得て、大会参加者及び一般観覧者の安全・確実かつ円滑な輸送を行う。

3 輸送方法

(1) 大会参加者の輸送

ア 全国輸送

大会参加者は、自由集合・自由解散とする。ただし、県委員会は必要に応じて、関係機関等の協力を得て輸送力の確保に努める。

イ 総合開・閉会式輸送

総合開・閉会式輸送は、原則として計画輸送とし、県委員会が会場地委員会及び関係機関等の協力を得て実施する。

ウ 競技会場地輸送

競技会場地輸送は、原則として会場地委員会が関係機関等の協力を得て実施する。

エ 監督会議など各種会議の輸送

監督会議など各種会議の輸送は、原則として自由集合・自由解散とする。

(2) 指定集合地の設定

県委員会及び会場地委員会は、総合開・閉会式及び競技会場地における大会参加者の輸送を円滑に行うため、宿舍の分布、参加人員、道路交通事情等を考慮し、バスその他の車両の乗降場として必要に応じて指定集合地を設ける。

(3) 一般観覧者の輸送

一般観覧者の輸送は、県委員会及び会場地委員会が関係機関等の協力を得て、公共交通機関等の利用による効率的で円滑な実施に努めるとともに、高齢者、障がい者等に配慮して行う。

なお、会場周辺の公共交通機関の状況等を勘案し、パークアンドライド方式に伴うシャトルバスの運行や最寄り駅等から会場までのシャトルバス運行等の措置を必要に応じて講じる。

(4) その他

鉄道、路線バス等の公共交通機関を利用する場合は、大会参加者及び一般観覧者が所定の料金を支払う。

4 車両等及び駐車場の確保

(1) 車両等の確保

大会参加者及び一般観覧者の輸送に必要な車両等については、県委員会または会場地委員会が関係機関等の協力を得て、その確保に努める。

(2) 総合開・閉会式会場駐車場

総合開・閉会式会場における駐車場については、県委員会が十分な確保に努め、効率的な利用を図る。

なお、駐車場利用者は、県委員会が発行する許可証等の交付を受けた車両のみとし、大会参加者及び一般観覧者の自家用車による来場は原則として認めない。

(3) 各競技会場駐車場

各競技会場における駐車場については、会場地委員会が十分な確保に努め、効率的な利用を図る。

なお、駐車場利用者は、会場地委員会の指示に従い、指定された駐車場を利用する。

5 交通安全対策

(1) 総合開・閉会式

県委員会は、総合開・閉会式における大会参加者及び一般観覧者の交通安全の確保と円滑な輸送を図るため、関係機関等の協力を得て、歩行者及び車両の誘導、交通規制等必要な対策を講じる。

(2) 各競技会

会場地委員会は、各競技会における大会参加者及び一般観覧者の交通安全の確保と円滑な輸送を図るため、関係機関等の協力を得て、歩行者及び車両の誘導、交通規制等必要な対策を講じる。

6 輸送・交通の案内

県委員会及び会場地委員会は、輸送・交通の案内を各種会議及び広報媒体を通じて周知を図るほか、県委員会が設置する総合案内所及び会場地委員会が設置する案内所において行う。

7 その他

この要項に定めるもののほか、輸送・交通に関して必要な事項は、県委員会及び会場地委員会が別に定める。

炬火イベントについて

1 「式典基本計画」における「炬火イベント」について

(抜粋)

(1) 基本的な考え方

③各市町村の特色を生かし、創意工夫を凝らした宮崎の魅力があふれる内容とします。

(2) 炬火イベントの基本方針

①炬火は、各市町村が関わる形で採火し、保管します。

②採火した炬火は、各市町村が実施する催しで活用することができます。

炬火はオリンピック・パラリンピックの聖火にあたるもので、国民スポーツ大会開催基準要項（JSP0 規程）において、式典中に炬火点火を必ず取り入れることとなっていることから、国スポの総合開会式等において炬火台に炬火を灯すこととなる。

このため、炬火の火を熾すイベントや炬火を活用した市町村によるイベントを実施する。

〔参考〕国民スポーツ大会開催基準要項（JSP0 規程）第20項第3号（抜粋）

式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。

総合開会式 炬火点火

総合閉会式 炬火納火

2 炬火イベントの実施方法

炬火イベントは次のとおり、県及び各市町村が実施する。

(1) 県実施イベント

県の主催により、気運醸成を高めるイベントとして幅広い年代の県民が参加でき、大会への興味・関心を持ってもらえる内容のものを企画し、その中で採火を行う。

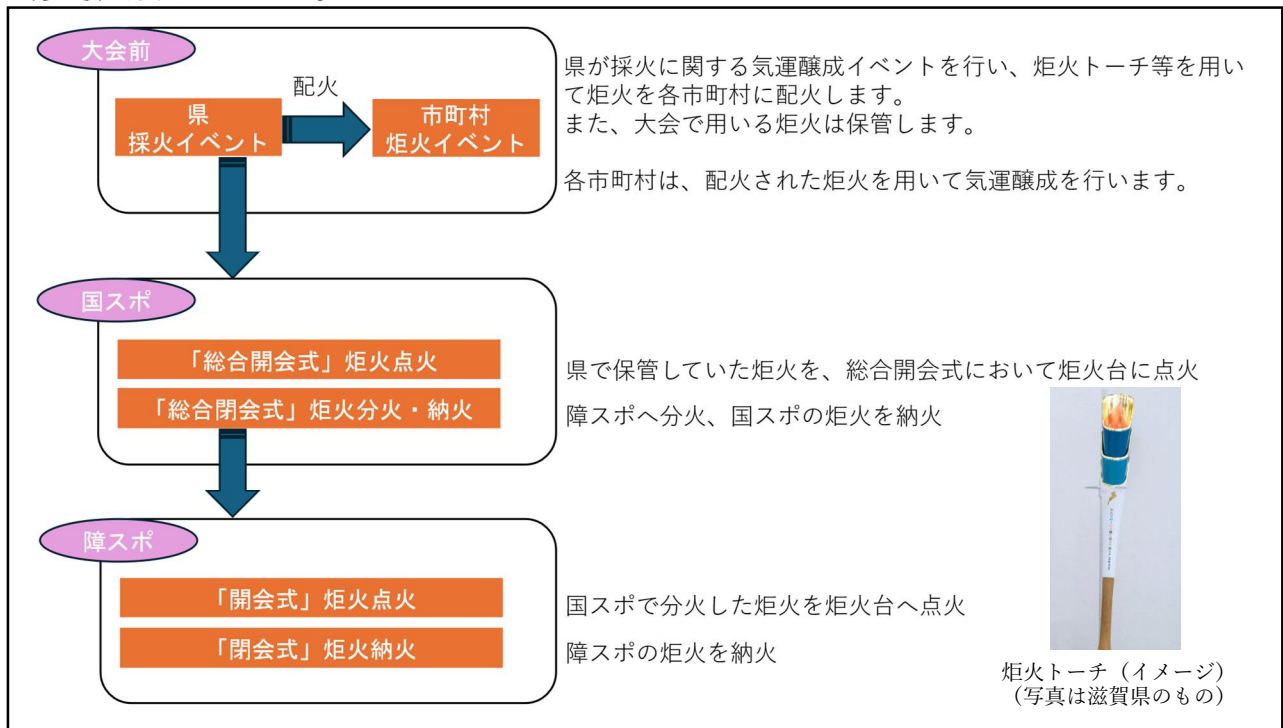
なお、炬火リレーに替わり上記イベントを通じてしっかりと気運醸成を図ることとする。

(2) 各市町村実施イベント

上記2(1)のイベント後、県から各市町村へ炬火を配火する。

炬火を配火された各市町村は炬火の到着式の実施や地域の祭りの場を活用した紹介、炬火用具の展示等を行うことで、各市町村内での気運醸成を図る。

〔参考〕炬火イベント等のイメージ



日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ
オープニングプログラムにおける企画の公募について

1 公募目的

2027年に宮崎県で開催される第81回国民スポーツ大会「日本のひなた宮崎 国スポ」(以下「国スポ」という。)総合開・閉会式及び第26回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎 障スポ」(以下「障スポ」という。)開・閉会式のオープニングプログラム(公募プログラム)において、宮崎の魅力を発信できるパフォーマンス企画(伝統芸能・ダンス・スポーツ等)を披露し、宮崎の魅力を全国へ発信する。

2 出演概要

(1) 出演日時・場所

	国スポ総合開会式	障スポ開会式	国スポ総合閉会式	障スポ閉会式
日程 出演時間帯	令和9年9月26日(日) 15:00~15:10頃	令和9年10月23日(土) 9:00~9:10頃	令和9年10月6日(水) 10:00~10:10頃	令和9年10月25日(月) 15:00~15:10頃
出演枠	2枠程度 (各枠5分程度)	2枠程度 (各枠5分程度)	2枠程度 (各枠5分程度)	2枠程度 (各枠5分程度)
企画募集数	最大2企画		最大2企画	
1企画あたりの人数	1企画あたり 概ね30名~200名程度			
会場	KUROKIRI STADIUM(宮崎県山之口陸上競技場) 所在地:都城市山之口町花木2381番地4			

(2) 企画内容

各企画における団体のパフォーマンス

- ・各企画5分程度
- ・パフォーマンスを行う場所はスタジアム内の陸上トラック部分を想定

(3) 留意事項

- ① 企画は複数の団体による合同での出演も可能。
- ② 応募に際しては、国スポ・障スポの両開・閉会式に重複して応募することが可能。
- ③ 出演者の人数、出演箇所、時間、内容等は、出演団体決定後、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会事務局(以下「実行委員会事務局」という。)にて調整する。
- ④ 出演団体には公募企画に出演するほか、両開会式での役員・選手入退場時や両閉会式での退場時のパフォーマンスへの参加を依頼する。

3 募集概要

(1) 募集期間

令和8年6月1日(月)~令和8年9月30日(水)

(2) 応募要件

主な応募要件は以下のとおりとする。

- ・宮崎にゆかりがあり、国スポ総合開・閉会式、障スポ開・閉会式に出演して会場を盛り上げたいという思いがあり、実現できること。
- ・実行委員会事務局が指定する練習会、総合リハーサル及び本番等への参加(雨天時を含む。)が可能であること。
- ・出演に関する活動は無報酬とし、練習、衣装および用具等出演に係る一切の経費は出演団体が負担すること。
- ・本番の演出等については、実行委員会事務局と協議の上、確定すること。

4 公募企画の決定

実行委員会事務局において、申込み内容から以下の点を踏まえて、公募企画を決定する。

- ・応募要件に合致しているか
- ・宮崎の魅力を表現しているか
- ・スタジアムでの広がりや躍動感
- ・その他、出演内容、人数、式典全体との演目のバランス等

5 今後の予定

令和8年6月1日～9月30日

公募（HP公開）

令和8年10月～11月頃

実行委員会事務局で選考・決定

※結果について式典専門委員会で報告

6 本番までのスケジュール（予定）

令和9年（2027年）	1月～2月	出演者説明会
	7月～8月	通し練習（1～2回程度）
	8月下旬	式典総合練習会
	9月19日	国スポ総合リハーサル
	9月26日	国スポ総合開会式
	10月6日	国スポ総合閉会式
	10月16日	障スポ総合リハーサル
	10月23日	障スポ開会式
	10月25日	障スポ閉会式

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

開・閉会式会場管理運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポの開・閉会式の会場秩序の保持と円滑な運営を図るため、開・閉会式会場に入場し、又は入場しようとする全ての者（以下「入場者等」という。）が遵守すべき事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

(1) 開・閉会式関連会場

開・閉会式を実施するため、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会（以下「実行委員会」という。）が使用する区域をいう。

(2) AD管理エリア

開・閉会式関連会場のうち、入場用ADカード等の通行管理レベル認識証（以下「ADカード等」という。）により入場管理を行う区域をいう。

(3) 式典会場

AD管理エリアのうち、開・閉会式の式典が行われる区域をいう。

(管理運営者)

第3条 開・閉会式関連会場の管理運営者は、実行委員会会長（以下「会長」という。）とする。

(持込禁止物)

第4条 開・閉会式関連会場に、次の各号に掲げる物（模造品、類似品を含む。）を持ち込んで서는ならない。ただし、会長が特に必要と認めた場合はこの限りでない。

(1) 銃砲類、エアソフトガン、モデルガン、その他銃器及び銃器と誤認させる物（銃砲の威力のない銃器を含む。）

(2) 刀剣類、包丁、ナイフ、カミソリ、針、ハサミ、缶切、その他鋭利な物

(3) 毒物、劇薬その他の有害物質

(4) 爆発物、発煙筒、爆竹、花火、ガスホーン、火薬、照明弾、催涙スプレー、油類その他可燃性の危険物

(5) スタンガン、石、弓矢、クロスボウ、スリングショット、吹矢、木材、木刀、鉄パイプ、棒、ハンマー、チェーン、その他凶器として使用されるおそれのある物

(6) 掲示板、立て看板、横断幕、懸垂幕、旗、のぼり、アドバルーン、風船、ゼッケン、プラカード、レーザーポインター、サーチライト、文書、図書、図面、印刷物等で開・閉会式の運営に支障を及ぼすおそれのある物

(7) 塗料類（ペンキ類）

(8) キックボード、スティックボード、スケートボード、ローラースケート、ローラー付きシューズ、ラジコン、その他通行に支障を及ぼすおそれのある物

(9) 無線通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット、小型ラジオ等を除く。）

(10) ドローン、カメラ内蔵型マルチヘリコプター、ラジコンヘリコプターその他遠隔操作又は自動操縦により飛行させることができる無人航空機（以下「ドローン等」という。）

(11) 動物類（盲導犬、聴導犬、介助犬等身体障害者の補助の用に供する目的で訓練された犬を除く。）

(12) その他入場者等に迷惑若しくは危険を及ぼし、又はそのおそれのある物

2 式典会場に、前項各号に掲げる物のほか、次の各号に掲げる物を持ち込んではいない。該当物については、持込禁止物預かり所にて一時預かることとする。ただし、会長が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

- (1) 酒類
- (2) ペットボトル
- (3) ドライアイス
- (4) ボール類、ブーメランなどの投てき用遊具のほか、ビン類、缶類（スプレー缶を含む。）、凍結物その他の投てき、破裂等により他人に危害を与えるおそれのある物
- (5) ホイッスル、拡声器、楽器、ラジオカセット、スピーカー、その他大きな音が出る物
- (6) クーラーボックス、旅行用カバンその他スタンド通路の通行に支障を及ぼすおそれのある大型又は大量の荷物
- (7) その他開・閉会式の式典の運営若しくは進行の妨げ、又はそのおそれのある物

(禁止行為)

第5条 開・閉会式関連会場において、次の各号に掲げる行為をしてはならない。ただし、会長が特に必要と認めた場合はこの限りでない。

- (1) 立入りを制限又は禁止された場所に正当な理由なく立ち入ること。
- (2) フィールド、観客席等へ物を投げ入れ、又は発射すること。
- (3) 機器を使用し、むやみに大音量を発すること。
- (4) 施設、器物、装置を汚損若しくは破壊し、又はみだりに操作を行うこと。
- (5) 入場者等を脅迫、威圧、侮辱、挑発し、若しくは入場者等に面会を強要し、又は入場者等の通行の妨害となる行為をすること。
- (6) 抗議集会、デモ等会場秩序を乱すおそれのある行為をすること。
- (7) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又はごみその他の汚物を廃棄すること。
- (8) アルコール、薬物その他の物質により酩酊した状態で入場し、又は入場しようとする。
- (9) 実行委員会が発行する駐車許可証等を掲示することなく、開・閉会式関連会場に自動車を乗り入れ、又は所定の場所以外の場所に駐車すること。
- (10) 所定の場所以外の場所へ自転車若しくは二輪車を乗り入れ、又は所定の場所以外の場所に駐輪すること。
- (11) たき火、電熱器、ガスその他これに類する火気を使用すること。
- (12) テント、小屋掛けその他工作物を設けること。
- (13) 商行為、寄付金の募集、広告物の提示等の行為をすること。
- (14) 文書、図書、図面、印刷物その他の物を配布し、又は掲出すること。
- (15) ヘイトスピーチ、宣伝、勧誘、署名活動、演説、講演、布教、集会又は喧噪にわたる行為をすること。
- (16) 本人名義以外のADカード等を使用してAD管理エリアに入る目的でADカード等を所持し、又は入場しようとする。
- (17) 施設又は設備に施された錠、封印、テープ等を損壊、開封又は改変すること。
- (18) 開・閉会式関連会場上空において、ドローン等を飛行させること。
- (19) その他会場における秩序の保持と大会の円滑な運営を妨げ、入場者等に迷惑若しくは危険を及ぼし、又はそのおそれのある行為をすること。

2 式典会場において、前項各号に掲げる行為のほか、次の各号に掲げる行為をしてはならない。ただし、会長が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

- (1) 式典会場内で傘を使用すること。
- (2) 他の入場者の迷惑になる、又はそのおそれのある撮影を行うこと。
- (3) 退場が規制されている時間に許可なく退場すること。

(遵守事項)

第6条 入場者等は、開・閉会式関連会場の施設管理者が定める諸規定を遵守しなければならない。

2 AD管理エリアに入場し、又は入場しようとする者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) ADカード等を外部から視認できるように実行委員会から指定された方法により携帯し、係員から提示を求められたときは、これに応じること。

(2) マイナンバーカード、運転免許証、障害者手帳、パスポート等顔写真付きの身分証明書その他本人であることを確認できるものを携帯し、係員から提示を求められたときは、これに応じること。

(3) 係員の指示、案内、誘導等に従い行動すること。

3 式典会場に入場し、又は入場しようとする者は、前項各号に加え、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 指定された場所において、実行委員会が指定する方法による本人確認に応じること。

(2) 式典会場における秩序の保持と大会の円滑な運営のため、手荷物、所持品等の検査に協力すること。

(3) 指定された席又はスタンドエリア内において着席して観覧し、係員が席の移動を指示した場合は、これに従うこと。

(入場制限等)

第7条 会長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、開・閉会式関連会場への入場を拒み、又は退場を命ずることができる。

(1) 会長の許可なく、第4条に掲げる物を持ち込んだ者又は持ち込もうとする者

(2) 会長の許可なく、第5条に掲げる行為を行った者又は行うおそれのある者

(3) 正当な理由なく前条に掲げる事項を遵守しない者

(雑則)

第8条 第4条及び第5条の規定は、次に掲げる場合には適用しないものとする。

(1) 実行委員会又は県が設置する両大会の実施本部が、開・閉会式等のため会場設営、運営及び式典行事を行う場合

(2) 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ都城市実行委員会が競技のため会場設営及び運営を行う場合

2 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和9年9月26日から施行し、令和9年10月25日をもって、その効力を失う。

日本のひなた宮崎 国スポ 水泳(飛込)競技会 実施計画

日本のひなた宮崎 国スポ 水泳(飛込)競技会(以下「競技会」という。)の開催基本計画に基づき、関係機関・団体等の協力を得て、以下のとおり各種業務を実施する。

1 広報

(1) 各種広報媒体の活動

ア 印刷物による広報

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会(以下「実行委員会」という。)作成のポスター、チラシ等を配布するとともに、関係機関・団体等の刊行物(広報誌等)への競技会情報の掲載を依頼する。

イ 屋外広告物による広報

関係機関・団体等の協力を得て、競技会場等に横断幕やのぼり等を設置し、競技会開催の広報を行う。

ウ 多様なメディアによる広報

実行委員会ホームページやSNSを活用し、広域的な情報発信を行うとともに、関係機関・団体等と連携し、情報発信拠点を広げる。また、報道機関への情報提供を積極的に行い、競技会情報の迅速かつ広域的な伝達に努める。

(2) 地域行事、イベントでの広報

競技会開催地域の行事やイベントにおいて、PR映像や国スポマスコット等を活用した広報活動を行う。

2 おもてなし

(1) 案内所の設置

競技会場内に案内所を設置し、競技、輸送、交通、観光等の案内を行う。

(2) 休憩所の設置

選手・監督、競技役員等(以下「競技会参加者」という。)及び一般観覧者等の憩いの場、交流の場として競技会場内に休憩所を設置する。

(3) おもてなし広場の設置

競技会参加者及び一般観覧者等に、宮崎県、熊本県及び熊本市の魅力を発信するため、関係機関・団体等の協力を得て、おもてなし広場を設置する。

3 施設整備

(1) 競技施設

日本のひなた宮崎 国スポ競技施設基準を遵守するとともに、施設管理者及び関係機関・団体等と十分協議を行い、既存の施設を最大限に活用する。

(2) 仮設物

競技会運営に必要な仮設物及び案内所・休憩所等については、施設管理者及び関係機関・団体等と十分協議の上、競技運営に支障のないよう、周囲の安全及び会場の動

線計画等に配慮し、整備する。

(3) 通信設備

競技会運営のために必要な無線通信設備や場内放送設備、インターネット設備等を設置する。

4 競技運営・式典

(1) 競技運営

競技団体と連携し、必要な諸条件の整備を図り、安全面に十分配慮しつつ、円滑かつ効率的な競技運営を行う。

ア 競技役員等の編成及び養成

競技団体と十分協議し、競技役員等の編成及び養成を図る。

イ 競技用具の整備

競技会に必要な競技用具は、現有のものを活用することを原則とし、競技運営に支障がないよう、競技団体と十分協議し、効率的に整備する。

ウ 競技記録

競技記録の収集・速報は、関係機関・団体等と連携を図り、正確かつ迅速に処理する。

(2) 式典

表彰式等の実施に当たっては、簡素化に努めるものとし、内容及び所要時間は、選手のコンディションに配慮しつつ競技運営に支障をきたさない範囲で行う。

(3) リハーサル大会

本大会に向けて競技会運営能力の習熟、向上を図るとともに、地元住民等の競技会に対する関心を高めるために実施するリハーサル大会について、関係機関・団体等と協議の上、準備を進める。

5 宿泊・医事衛生

(1) 宿舎

ア 競技会参加者の宿舎は、原則として、熊本市及び周辺地域の旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう）を利用する。

イ 風紀上、衛生上及び安全対策上等の理由により、支障があると認められる施設は宿舎として利用しない。

(2) 配宿

ア 競技会参加者の配宿は、競技会場までの交通状況等を考慮する。

イ 競技役員等の宿舎は、原則として、選手・監督の宿舎とは別にする。

(3) 宿泊料金

競技会参加者の宿泊料金は、公益財団法人日本スポーツ協会が決定したものを適用する。

(4) 食事

競技会参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスに配慮する。

(5) 医療救護

競技会参加者及び一般観覧者等の傷病発生に速やかに対処するため、関係機関・団

体等の協力を得て、競技会場内に救護所を設置し、応急処置及び医療機関への移送等の医療救護体制を整える。

(6) 防疫

競技会参加者及び一般観覧者等の感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するため、関係機関・団体等の協力を得て、防疫に関する知識及び意識のより一層の啓発を図る。

(7) 食品衛生

競技会参加者及び一般観覧者等の食の安全・安心を確保するため、競技会期間中に提供する飲食物の衛生対策に努める。

(8) 環境衛生

競技会参加者及び一般観覧者等に清潔で快適な環境を提供するため、関係機関・団体等の協力を得て、会場及び周辺環境の美化、廃棄物の適正処理、リサイクルの推進等に努める。

6 輸送・交通

(1) 輸送

ア 競技会参加者の輸送

競技会参加者の輸送については、来会意向調査等を踏まえ、必要に応じて計画輸送を行う。

イ 一般観覧者等の輸送

一般観覧者等の輸送については、バス、鉄道等の公共交通機関を利用するとともに、必要に応じてシャトルバスを運行するなど円滑な輸送に努める。

ウ 指定集合地の設定

競技会参加者及び一般観覧者等の輸送を円滑に行うために、宿舍の分布、参加人数、道路交通事情等を考慮し、バスその他車両の乗降場として必要に応じて指定集合地を設ける。

(2) 交通安全

競技会期間中における交通安全の確保と交通混雑の緩和を図るため、実情に応じて適切な交通安全対策を講じる。

(3) 駐車場

競技会場における駐車場については、十分な確保に努め、必要に応じて駐車場整理員を配置し、効率的な利用に努めるとともに、運営上必要と認められる車両には、事前に駐車許可証等を交付するなど必要な措置を講じる。

7 警備・消防・防災

(1) 自主警備

自主警備体制を確立し、事件・事故等の未然防止及び発生時における速やかな事態の收拾を図る。また、関係機関・団体等と緊密な連携を図る。

(2) 消防・防災

火災その他災害（以下「火災等」という。）の未然防止及び火災等発生時における迅速かつ的確な対応を図るため、関係機関・団体等と緊密に連携し、火災等発生時の

情報収集・伝達、避難誘導及び消防・防災体制（救急・救助体制を含む）を確立する。

(3) 大規模災害・突発重大事案

競技会場等での大規模災害及び突発重大事案発生時には、関係機関・団体等と連携のもと、情報収集・伝達、避難誘導及び救急・救助等に関する諸対策を実施する。

8 その他

各種業務に関するその他必要な事項は、実行委員会が関係機関・団体等と協議の上、定める。

日本のひなた宮崎 国スポ カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）競技会 実施計画

日本のひなた宮崎 国スポ カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）競技会（以下「競技会」という。）の開催基本計画に基づき、関係機関・団体等の協力を得て、以下のとおり各種業務を実施する。

1 広報

(1) 各種広報媒体の活動

ア 印刷物による広報

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会（以下「実行委員会」という。）作成のポスター、チラシ等を配付するとともに、関係機関・団体等の刊行物（広報誌等）への競技会情報の掲載を依頼する。

イ 屋外広告物による広報

関係機関・団体等の協力を得て、競技会場等に横断幕やのぼり等を設置し、競技会開催の広報を行う。

ウ 多様なメディアによる広報

実行委員会ホームページやSNSを活用し、広域的な情報発信を行うとともに、関係機関・団体等と連携し、情報発信拠点を広げる。また、報道機関への情報提供を積極的に行い、競技会情報の迅速かつ広域的な伝達に努める。

(2) 地域行事・イベントでの広報

競技会開催地域の行事やイベントにおいて、PR映像や国スポマスケット等を活用した広報活動を行う。

2 おもてなし

(1) 案内所の設置

競技会場内に案内所を設置し、競技、輸送、交通、観光等の案内を行う。

(2) 休憩所の設置

選手・監督、競技役員等（以下「競技会参加者」という。）及び一般観覧者等の憩いの場、交流の場として競技会場内に休憩所を設置する。

(3) おもてなし広場の設置

競技会参加者及び一般観覧者等に宮崎県、鹿児島県及び湧水町の魅力を発信するため、関係機関・団体等の協力を得て、おもてなし広場を設置する。

3 施設整備

(1) 競技施設

日本のひなた宮崎 国スポ競技施設基準を遵守するとともに、施設管理者及び関係機関・団体等と十分協議を行い、既存の施設を最大限に活用する。

(2) 仮設物

競技会運営に必要な仮設物及び案内所・休憩所等については、施設管理者及び関係機関・団体と十分協議の上、競技運営に支障のないよう、周囲の安全及び会場の動線計画

等に配慮し、整備する。

(3) 通信施設

競技会運営のために必要な無線通信設備や場内放送設備、インターネット設備等を設置する。

4 競技運営・式典

(1) 競技運営

競技団体と連携し、必要な諸条件の整備を図り、安全面に十分配慮しつつ、円滑かつ効率的な競技運営を行う。

ア 競技役員等の編成及び養成

競技団体と十分協議し、競技役員等の編成及び養成を図る。

イ 競技用具の整備

競技会に必要な競技用具は、現有のものを活用することを原則とし、競技運営に支障がないよう、競技団体と十分協議し、効率的に整備する。

ウ 競技記録

競技記録の収集・速報は、競技団体と連携を図り、正確かつ迅速に処理する。

(2) 自衛隊への協力要請

日本のひなた宮崎 国スポ^ポ 自衛隊協力要請基本方針に基づき、競技会運営に万全を期すため、必要に応じて自衛隊に協力を要請する。

(3) 式典

表彰式等の実施に当たっては、簡素化に努めるものとし、内容及び所要時間は、選手のコンディションに配慮しつつ競技会運営に支障をきたさない範囲で実施する。

(4) リハーサル大会

本大会に向けて競技会運営能力の習熟、向上を図るとともに、地元住民等の競技会に対する関心を高めるために実施するリハーサル大会について、関係機関・団体等と協議の上、準備を進める。

5 宿泊・医事衛生

(1) 宿泊

ア 競技会参加者の宿舎は、原則として、湧水町及び周辺地域の旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう）を利用する。

イ 風紀上、衛生上及び安全対策上等の理由により、支障があると認められる施設は宿舎として利用しない。

(2) 配宿

ア 競技会参加者の配宿は、競技会場までの交通状況等を考慮する。

イ 競技役員等の宿舎は、原則として、選手・監督の宿舎とは別にする。

(3) 宿泊料金

競技会参加者の宿泊料金は、公益財団法人日本スポーツ協会が決定したものを適用する。

(4) 食事

競技会参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスに配慮する。

(5) 医療救護

競技会参加者及び一般観覧者等の傷病発生に速やかに対処するため、関係機関・団体等の協力を得て、競技会場内に救護所を設置し、応急処置及び医療機関への移送等の医療救護体制を整える。

(6) 防疫

競技会参加者及び一般観覧者等の感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するため、関係機関・団体等の協力を得て、防疫に関する知識及び意識のより一層の啓発を図る。

(7) 食品衛生

競技会参加者及び一般観覧者等の食の安全・安心を確保するため、競技会期間中に提供する飲食物の衛生対策に努める。

(8) 環境衛生

競技会参加者及び一般観覧者等に清潔で快適な環境を提供するため、関係機関・団体等の協力を得て、会場及び周辺環境の美化、廃棄物の適正処理、リサイクルの推進等に努める。

6 輸送・交通

(1) 輸送

ア 競技会参加者の輸送

競技会参加者の輸送については、来会意向調査等を踏まえ、必要に応じて計画輸送を行う。

イ 一般観覧者等の輸送

一般観覧者等の輸送については、バス、鉄道等の公共交通機関等を利用するとともに、必要に応じてシャトルバスを運行するなど円滑な輸送に努める。

ウ 指定集合地の設定

競技会参加者及び一般観覧者等の輸送を円滑に行うため、宿舍の分布、参加人数、道路交通事情等を考慮し、バスその他車両の乗降場として必要に応じて指定集合地を設ける。

(2) 交通安全

競技会期間中における交通安全の確保と交通混雑の緩和を図るため、実情に応じて適切な交通安全対策を講じる。

(3) 駐車場

競技会場及びその周辺における駐車場については、十分な確保に努め、必要に応じて駐車場整理員を配置し、効率的な利用に努めるとともに、運営上必要と認められる車両には、事前に駐車許可証等を交付するなど必要な措置を講じる。

7 警備・消防・防災

(1) 自主警備

自主警備体制を確立し、事件・事故等の未然防止及び発生時における速やかな事態の収拾を図る。また、関係機関・団体等と緊密な連携を図る。

(2) 消防・防災

火災その他災害（以下「火災等」という。）の未然防止及び火災等発生時における迅速かつ的確な対応を図るため、関係機関・団体等と緊密に連携し、火災等発生時の情報収集・伝達、避難誘導及び消防・防災体制（救急・救助体制を含む）を確立する。

(3) 大規模災害・突発重大事案

競技会場等での大規模災害及び突発重大事案発生時には、関係機関・団体等と連携のもと、情報収集・伝達、避難誘導、救急・救助等に関する諸対策を実施する。

8 その他

各種業務に関するその他必要な事項は、実行委員会が関係機関・団体等と協議の上、定める。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ
メダルデザイン及び炬火トーチデザインの最優秀賞受賞者の決定

1 メダルデザイン最優秀賞受賞者

- ① 募集期間
令和7年8月22日（金）から令和7年11月21日（金）まで
- ② 応募作品数
752作品
- ③ 最優秀賞受賞者
氏 名：杉山 志保 氏
居 住 地：宮崎市
- ④ デザインの公表及び表彰式の時期
令和8年夏頃（予定）

2 炬火トーチデザイン最優秀賞受賞者

- ① 募集期間
令和7年6月5日（木）から令和7年9月30日（火）まで
- ② 応募作品数
149作品
- ③ 最優秀賞受賞者
氏 名：清山 陽平 氏
居 住 地：都城市
- ④ デザインの公表及び表彰式の時期
令和8年3月下旬（予定）

「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」
特別支援学校等アートコンテストについて

1 募集期間

令和7年7月1日（火）から令和7年9月26日（金）まで

2 応募作品数

84作品（合同作品含む）

3 最優秀作品及び優秀作品

	学校名	学部	学年	名前	作品
最優秀賞	新富町立 上新田小学校	小	4	イワモト ソウタ 岩元 奏大	
優秀賞 (小学部)	木城町立 みどりの杜木城学園	小	6	ナガトモ セナ 長友 汐菜	
優秀賞 (中学部)	宮崎県立 みなみのかぜ支援学校	中	1	ムラタ クルミ 村田 來望	
優秀賞 (高等部)	宮崎県立 日南くろしお支援学校	高	1	カワノ タム 河野 汰夢	

4 その他

(1) 最優秀作品は、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」協賛車デザインに採用。優秀作品は、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」ボランティアグッズデザインに採用。

(2) 応募いただいた全作品を下記の2会場で展示。

- ① 令和8年2月 1日から2月15日 宮崎県防災庁舎1階展示スペース
- ② 令和8年2月18日から2月24日 イオンモール宮崎2階

「日本のひなた宮崎 障スポ」選手団サポーター養成協力校委嘱について

「日本のひなた宮崎 障スポ」において、選手や役員の介助・誘導等のサポートを行う学生等で構成する「選手団サポーター」の養成開始にあたり、養成に御協力いただく医療・福祉系の大学・専修学校等へ委嘱状を交付した。

1 養成協力校

県内の医療・福祉系の大学・専修学校等18校

1	宮崎大学	10	都城看護専門学校
2	宮崎県立看護大学	11	都城医療センター附属看護学校
3	南九州大学	12	都城リハビリテーション学院
4	九州医療科学大学	13	藤元メディカルシステム看護大学校
5	九州医療科学大学専門学校	14	延岡看護専門学校
6	宮崎保健福祉専門学校	15	日南看護専門学校
7	フィオーレ KOGA 看護専門学校	16	小林看護医療専門学校
8	宮崎リハビリテーション学院	17	宮崎医療福祉専門学校
9	宮崎看護専門学校	18	児湯准看護学校

2 養成見込み人数（令和7年12月時点）

1079名

3 委嘱状交付式

令和7年12月11日（木）



議 事

第18回常任委員会 第1号議案

● 日本のひなた宮崎 国スポの概要

- (1) 大会名 第81回国民スポーツ大会
- (2) 大会愛称 **日本のひなた宮崎 国スポ**
- (3) スロガ 紡ぐ感動 神話となれ
- (4) 開催期間 令和9(2027)年9月26日(日)～10月6日(水)
- (5) 総合開・閉会式の期日及び会場
総合開会式：令和9(2027)年9月26日(日)
総合閉会式：令和9(2027)年10月6日(水)
会場：KUROKIRI STADIUM（宮崎県山之口陸上競技場）
- (6) 実施競技
正式競技：37競技／特別競技：1競技／公開競技：6競技
デモンストラーションスポーツ：37競技



みやざき犬
(マスコットキャラクター)

● 式典の概要

- (1) 式典テーマ 紡ぐ感動 神話となれ
- (2) 基本的な考え方

- ① 「チームみやざき」の一員である県民が様々な形で参加し、元氣・勇氣・感動を共有できる式典とする。
- ② 宮崎の魅力を全国に発信し、来県者をおもてなしの心で温かく迎えるとともに、参加者の記憶に残る式典とする。
- ③ アスリートファーストの視点に立ち、簡素化を図りながらも創意工夫を凝らした式典とする。

● 1次第 ※次第については現時点の案であり、公益財団法人日本スポーツ協会の協議のうえ、正式に決定します。

<総合開会式>

順	次第	次第
	実施態度決定	
1	開場	
2	オープニングプログラム開始	
3	入場締切	
4	オープニングプログラム終了	
5	開式通告	
6	役員・選手団入場開始	
7	役員・選手団整列完了	
8	開会宣言	
9	国旗掲揚	
10	大会旗・日本スポーツ協会旗掲揚	
11	宮崎県旗・都市旗掲揚	
12	天皇杯・皇后杯返還	
13	大会長あいさつ	
14	文部科学大臣あいさつ	
15	選手代表宣誓	
16	炬火入場・点火（演技を含む）	
17	閉式通告	
18	エンディングプログラム開始（役員・選手団退場含む）	
19	エンディングプログラム終了	
20	終了	

<総合閉会式>

順	次第	次第
	実施態度決定	
1	開場	
2	オープニングプログラム開始	
3	オープニングプログラム終了	
4	開式通告	
5	成績発表	
6	表彰状授与	
7	天皇杯・皇后杯授与	
8	大会長あいさつ	
9	スポーツ庁長官あいさつ	
10	宮崎県旗・都市旗掲揚	
11	大会旗・日本スポーツ協会旗降納	
12	国旗降納	
13	炬火分火・納火	
14	国スポ旗引継	
15	長野県旗掲揚	
16	閉会宣言	
17	閉式通告	
18	役員・選手団退場開始	
19	役員・選手団退場完了	
20	終了	

ポイント ○ 式典の中に式典演技を盛り込む演出

▶ オープニングプログラム

総合開会式	
項目	所要時間
公募プログラム	70分
主催者プログラム	
内容	
県内で活動する団体等のライブパフォーマンスにより地域の魅力を紹介 映像やパフォーマンスで宮崎県・スポーツランドみやざきの魅力を発信	

<総合閉会式>

総合閉会式	
項目	所要時間
公募プログラム	50分
主催者プログラム	
内容	
県内で活動する団体等のライブパフォーマンスにより地域の魅力を紹介 国スポ期間中の様子を振り返るメモリアル映像の上映 映像等により障スポ協議の魅力を紹介	

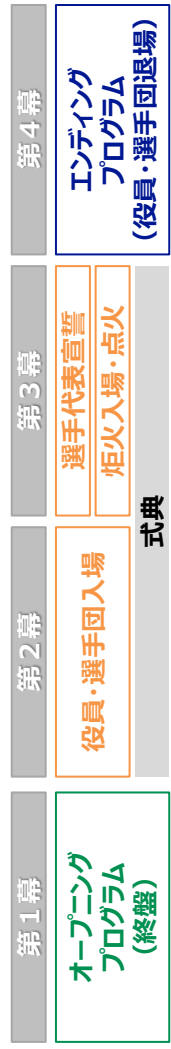
▶ 式典演技

<目指す姿とイメージ>

- 歓迎・おもてなしの心や宮崎の魅力を表現
- 式典会場が一体となった演技・演出

- ◆ 演技を役員・選手団入退場及び炬火演出に盛り込み、それぞれ「入退場パフォーマンス」「炬火パフォーマンス」とする。
- ◆ 国スポと障スポでテーマや演技内容を共有する。

<場面構成> 上記の「目指す姿とイメージ」に基づき、本県における式典演技は、下記の場面で実施し、式典演技の目指す姿を具現化します。



▶ エンディングプログラム（総合開会式のみ）

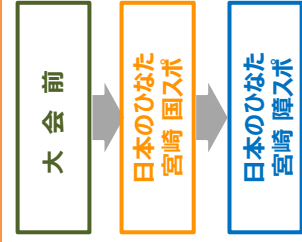
項目	所要時間	内容
主催者プログラム	30分	会場を盛り上げるパフォーマンスで選手にエールを送る

▶ 式典音楽

- <式典音楽使用曲>
- ・ファンファーレⅠ、Ⅱ、Ⅳ
 - ・入場曲
 - ・国歌「君が代」
 - ・「若い力」
 - ・「宮崎県民歌」等
- <式典音楽隊編成>
- ・吹奏楽隊 100名弱
 - ・合唱隊 100名弱



▶ 炬火イベント計画



- 採火イベント実施
炬火イベント実施
- ：炬火は、関係市町村が関わる形で採火
 - ：各市町村は、配火された炬火を用いて気運醸成を行う
- 総合開会式（炬火入場・点火）
総合閉会式（炬火分火・納火）
- ：採火された炬火を、炬火台に点火
 - ：障スポへ分火、国スポの炬火を納火
- 開会式（炬火入場・点火）
閉会式（炬火納火）
- ：国スポで分火した炬火を炬火台に点火
 - ：障スポの炬火を納火



● 日本のひなた宮崎 障スポの概要

- (1) 大会名 第26回全国障害者スポーツ大会
- (2) 大会愛称 **日本のひなた宮崎 障スポ**
- (3) スローガン 紡ぐ感動 神話となれ
- (4) 開催期間 令和9(2027)年10月23日(土)～10月25日(月)
- (5) 開・閉会式の期日及び会場
 開会式：令和9(2027)年10月23日(土)
 閉会式：令和9(2027)年10月25日(月)
 会場：KUROKIRI STADIUM (宮崎県山之口陸上競技場)
- (6) 実施競技 正式競技：14競技 / オープン競技：4競技



みやざき犬
(マスコットキャラクター)

● 式典の概要

- (1) 式典テーマ 紡ぐ感動 神話となれ
- (2) 基本的な考え方
- 「チームみやざき」の一員である県民が様々な形で参加し、元氣・勇氣・感動を共有できる式典とする。
 - 宮崎の魅力を全国に発信し、来県者をおもてなしの心で温かく迎えるとともに、参加者の記憶に残る式典とする。
 - アスリートファーストの視点に立ち、簡素化を図りながらも創意工夫を凝らした式典とする。

☆ 次第

※次第については現時点の案であり、関係機関との協議のうえ、正式に決定します。

<開会式>

順	次第
1	実施態度決定
2	開場
3	オープニングプログラム開始
4	入場締切
5	オープニングプログラム終了
6	開式通告
7	役員・選手団入場開始
8	役員・選手団整列完了
9	開会宣言・大会会長あいさつ
10	国旗掲揚
11	大会旗・宮崎県旗・都城市旗掲揚
12	文部科学大臣あいさつ
13	選手代表宣誓
14	炬火入場・点火（演技を含む）
15	閉式通告
16	エンディングプログラム開始（役員・選手団退場含む）
17	エンディングプログラム終了
17	終了

<閉会式>

順	次第
1	実施態度決定
2	開場
3	オープニングプログラム開始
4	オープニングプログラム終了
5	開式通告
6	大会会長あいさつ
7	大会旗・宮崎県旗・都城市旗降納
8	国旗降納
9	大会旗引継
10	炬火納火
11	閉会宣言
12	閉式通告
13	ファイナルステージ開始
14	ファイナルステージ終了
15	役員・選手団退場開始
16	役員・選手団退場完了
17	終了

ポイント ○式典の中に式典演技を盛り込む演出

▶ オープニングプログラム

<開会式>

項目	所要時間	内容
公募プログラム	60分	県内で活動する団体等のライブパフォーマンスにより地域の魅力を紹介
主催者プログラム		映像やパフォーマンスで宮崎県・スポーツランドみやざきの魅力を発信

<閉会式>

項目	所要時間	内容
公募プログラム	30分	県内で活動する団体等のライブパフォーマンスにより地域の魅力を紹介
主催者プログラム		大会を振り返る選手インタビュー等 障スポ期間中の様子を振り返るメモリアル映像の上映

▶ 式典演技

<目指す姿とイメージ>

歓迎・おもてなしの心や宮崎の魅力を表現

式典会場が一体となった演技・演出

- ◆演技を役員・選手団入退場及び炬火演出に盛り込み、それぞれ「入退場パフォーマンス」「炬火パフォーマンス」とする。
- ◆国スポと障スポでテーマや演技内容を共有する。

<場面構成> 上記の「目指す姿とイメージ」に基づき、本県における式典演技は、下図の場面で実施し、式典演技の目指す姿を具現化します。

第1幕	第2幕	第3幕	第4幕
オープニングプログラム（終盤）	役員・選手団入場	選手代表宣誓 炬火入場・点火	エンディングプログラム (役員・選手団退場)

▶ エンディングプログラム（開会式のみ）

項目	所要時間	内容
主催者プログラム	30分	会場を盛り上げるパフォーマンスで選手にエールを送る

▶ ファイナルステージ（閉会式のみ）

項目	所要時間	内容
主催者プログラム	30分	両大会のファイナルとして、宮崎の魅力で会場が一体となるプログラム

▶ 式典音楽

- <式典音楽使用曲>
- ・ファンファーレⅠ、Ⅱ、Ⅳ
 - ・入場曲
 - ・国歌「君が代」
 - ・全国障害者スポーツ大会大会歌「空よ大地よ」等
- <式典音楽隊編成>
- ・吹奏楽隊 100名弱
 - ・合唱隊 100名弱



▶ 炬火イベント計画

大会前

- 採火イベント実施 : 炬火は、関係市町村が関わる形で採火
 炬火イベント実施 : 各市町村は、配火された炬火を用いて気運醸成を行う

日本のひなた
宮崎 国スポ

- 総合開会式（炬火入場・点火）：採火された炬火を、炬火台に点火
 総合閉会式（炬火分火・納火）：障スポへ分火、国スポの炬火を納火

日本のひなた
宮崎 障スポ

- 開会式（炬火入場・点火）：国スポで分火した炬火を炬火台に点火
 閉会式（炬火納火）：障スポの炬火を納火



第81回国民スポーツ大会 本大会実施要項総則（案）

国民スポーツ大会開催基準要項第26項第2号に基づき、第81回国民スポーツ大会本大会実施要項のうち総則（案）について審議を行う。

【参考（公財）日本スポーツ協会 国民スポーツ大会開催基準要項・細則（抜粋）】

○ 開催基準要項	
26 各競技の実施要項	
(1) 大会で実施する正式競技、公開競技及び特別競技の実施要項は、それぞれ全国を統轄する競技団体が立案し、日本スポーツ協会に提出する。提出された実施要項は、冬季大会は大会開催月の6カ月前、本大会は大会開催年の前年の12月31日までに日本スポーツ協会において決定し、開催県実行委員会が作成する。	
(2) 実施要項に記載する内容は別に細則第10項で定める。	
○ 開催基準要項細則	
10 本則第26項（実施要項に記載する内容）	
(1) 大会実施要項	(2) 各競技別実施要項
1) 総則	1) 期日
①開催の趣旨 ②実施競技 ③会期及び会場	2) 会場
④競技方法 ⑤参加資格 ⑥表彰の方法	3) 種別（種目）及び参加人員
⑦参加申込方法 ⑧宿泊申込方法	4) 競技上の規程及び方法
⑨参加上の注意 ⑩その他必要な事項	5) 予選方法
2) 大会日程と会場地一覧表	6) 参加資格等
3) 各競技実施要項	7) 成績採点方法
4) 天皇杯・皇后杯授与規程	8) 表彰の方法
5) 大会会長トロフィー授与規程	9) 参加申込方法
6) 日本スポーツ協会加盟競技団体一覧表	10) 参加上の注意
7) 開催県体育・スポーツ協会加盟団体一覧表	11) その他
8) 開催県各会場地市町村実行委員会事務局一覧表	
9) その他必要な事項	

【今後のスケジュール（予定）】

年月	内容
令和8年1月20日	第11回競技運営専門委員会で審議
令和8年2月4日	第18回常任委員会で審議
令和8年6月	令和8年度第1回国民スポーツ大会委員会で総則（案）協議・承認
令和8年12月	第3回国民スポーツ大会委員会で各競技別実施要項承認 承認後、大会実施要項（案）を会場地市町村、後催県へ送付
令和9年3月	第4回国民スポーツ大会委員会の決定を経て、大会実施要項、各競技別実施要項をHPへ掲載

第81回国民スポーツ大会 本大会実施要項総則（案）

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

宮崎県で開催する第81回国民スポーツ大会「日本のひなた宮崎 国スポ」（以下、「日本のひなた宮崎 国スポ」という。）は、「紡ぐ感動 神話となれ」をスローガンに掲げ、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技（6 競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ（37 競技）

ラジオ体操、少林寺拳法、BMX・スケートボード、ビリヤード、パークゴルフ、U12バスケットボール、3B体操、ウォーキング、ターゲット・バードゴルフ、ソフトバレーボール、サーフィン、少年・少女レスリング、ジュニアサッカー、少年女子サッカー、ウォーキング、ノルディックウォーキング、健幸増進グランドゴルフ、スポーツウエルネス吹矢、ミニテニス、フレッシュグラウンド・ゴルフ、ユニカール、ウォーキング、ミュージックレクリエーション、エンジョイ エアロビック、ウォーキング、enjoy T&F GP、ラジオ体操、アームレスリング、ラジオ体操、AJTA スポーツ玉入れ、トレッキング、キャッチング・サ・スティック、ボッチャ、ラダーゲッター、モルック、森林セラピーウォーキング、フロアカーリング

(4) 特別競技（1 競技）

高等学校野球

2 会期及び会場地

(1) 正式競技・特別競技 (10市15町：計25市町)

会 期	会 場 地
2027年9月26日(日) ～10月6日(水) 〔11日間〕	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町
2027年9月9日(木) ～9月23日(木) 〔15日間〕	宮崎市、延岡市、小林市、日向市、綾町、熊本県熊本市、鹿児島県湧水町 ※ 水泳、ローイング、バレーボール(ビーチバレーボール)、体操、馬術、ライフル射撃、カヌー(スラローム・ワイルドウォーター) ゴルフ、トライアスロン競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技 (3市1町：計4市町)

会 期	会 場 地
2027年8月21日(土) ～9月12日(日)	都城市、延岡市、日南市、木城町

(3) デモンストレーションスポーツ (9市、14町、3村：計26市町村)

会 期	会 場 地
2027年4月10日(土) ～10月3日(日)	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2027年1月1日から2027年12月31日までの期間で、原則として、県内市町村で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動(ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動)は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例(TUE)」の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「**第 81 回**国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた本戦参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)bについて、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ **第 79 回**又は**第 80 回**大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、**第 79 回**又は**第 80 回**大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

[注] a 及び b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 6 「令和 6 年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「令和6年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

(ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受けふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ウ) 勤務地

(エ) 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、**2027年**4月30日以前から本大会終了時（**2027年10月6日**）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「令和6年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「令和6年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

- (ア) 成年種別に参加する者は、**2009年**4月1日以前に生まれた者とする。
- (イ) 少年種別に参加する者は、**2009年**4月2日から**2012年**4月1日までに生まれた者とする。
- (ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、**2027年**4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（**2012年**4月2日から**2013年**4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議の上、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—————	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注] 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。
 ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。
- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

- (1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。
- (6) 各正式競技及び特別競技の第1位から第3位までの選手にメダルを授与する。

8 参加申込方法

- (1) 参加申込
 都道府県スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛てに申込みものとする。
- (2) 参加申込締切
 参加申込は、定められた締切日時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。
 なお、各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。
- (3) 参加申込締切日時

締切日時	競 技
2027年 8月12日(木) 午後5時 【1競技】	ゴルフ
2027年 8月19日(木) 午後5時 【13競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、セーリング、自転車、ソフトテニス、相撲、馬術、ライフル射撃、カヌー、ボウリング、トライアスロン

2027年 9月2日(木) 午後5時 【25競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール(6人制)、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、卓球、軟式野球、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球
------------------------------------	--

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛てに届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 実行委員会事務局

ウ 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 各競技会場地市町村実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続をとらなければならない。

なお、棄権手続に係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団(視察員を除く)を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人あたりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3,000円
上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)	6,000円

[注] 地震、風水害、感染症及びその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2027年9月9日(木)

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、**2027 年 9 月 2 日 (木)** 午後 5 時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、**2028 年**以降の国民スポーツ大会の開催が決定又は内定している県については、**長野県** 100 名以内、**群馬県**及び**島根県** 60 名以内、**奈良県**及び**山梨県** 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、**2027 年 9 月 2 日 (木)** 午後 5 時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 記念品及び AD カードの交付

記念品及び AD カードは、次の者に交付する。

- (1) **記念品**
 - ア 都道府県選手団
 - イ 大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員
 - ウ 公開競技及びデモンストラーションスポーツ参加者
- (2) AD カード (Accreditation Card)
 - ア 都道府県選手団
 - イ 大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員
 - ウ 大会主催者及び競技会主催者が認めた者
 - エ 公開競技に参加する選手、監督及び役員

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ各競技会場地市町村実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾

を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

(2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

(3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。

なお、参加は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会もそれぞれ1競技に限り参加できる。

(4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

(5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

(6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

(7) 競技運営に差し支えない限り、**宮崎県**選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

(3) 納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ通知する。

19 日本のひなた宮崎 国スポの実施目標

(1) 「チームみやざき」で創りあげる国スポ

スポーツを「する」、「みる」、「支える」など、県民がそれぞれの立場で大会に関わり、

競技会はもちろん、県民運動や文化プログラム等により、大会の開催機運を盛り上げる県民総参加型の大会とする。

(2) スポーツの素晴らしさを体感できる国スポ

指導者の養成やアスリートの育成など、計画的かつ継続的な競技力の向上を図るとともに、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいづくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会とする。

(3) 宮崎県の魅力を全国に発信する国スポ

神話や伝統文化、豊かな自然や食に加え、充実したスポーツ環境など、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信する。

また、来県する皆様を“おもてなしの心”で温かく迎え、県民とのふれあいや感動の共有による心の絆を深める大会とする。

(4) 「未来のみやざき」づくりを進める国スポ

国スポの開催を契機として、スポーツの拠点づくりや地域活性化、スポーツ文化の醸成、さらには「スポーツランドみやざき」の全県展開などに取り組み、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進する。

20 その他

- (1) 参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。
- (3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項及び同細則による。

別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者及び『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は開催前年の10月31日）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛てに提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1-③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、又は同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2)-②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、国民スポーツ大会委員会の決議を経て当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2027年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者
 - ア JOC オリンピック強化指定選手
 - イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
 - ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2027年4月30日以前から大会終了時（2027年10月6日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。
 - なお、生活の実態については、下記要件により判断する。
 - a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
 - b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
 - c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
 - d 当該住居に主要な家財道具が存すること

(イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2027年4月30日以前から大会終了時（2027年10月6日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県(以下「特例対象県」という。)とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日(震災発生時)時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、**2027年**4月30日以前から大会終了時(**2027年10月6日**)まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、**第79回**又は**第80回**大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が**2027年**4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場す

ることができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から**第80回**大会又は**第81回**大会に参加した者が、**第82回**大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- <例>
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

別記6 「令和6年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、**2027年**4月30日以前から当該大会終了時（**2027年10月6日**）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、**第79回**大会又は**第80回**大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が**2027年**4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学してい

る実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から**第80回**大会又は**第81回**大会に参加した者が、**第82回**大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- ＜例＞
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

日本のひなた宮崎 国スポ 競技会会期変更（案）

各競技会における競技会会期について、会場地市町及び競技団体が諸事情により協議の上、変更するものについて審議を行う。

変更内容

【サッカー競技】

種別	会場地	競技会場	競技会会期	
少年男子	新富町	いちご宮崎新富サッカー場	変更前	9/29（水）～10/1（金）3日間
			変更後	9/27（月）、29日（水）、10/1（金）3日間
		（仮称）富田浜公園	変更前	9/27（月）～9/29（水）3日間
			変更後	9/28（火）～9/30（木）3日間

変更理由：いちご宮崎新富サッカー場については、芝のダメージを考慮し、連続使用を避けるため。（仮称）富田浜公園については、施設の都合上対応が困難であるため。

【バスケットボール競技】

種別	会場地	競技会場	競技会会期	
成年女子	都城市	高崎総合公園総合体育館	変更前	10/2（土）～10/3（日）2日間
			変更後	10/2（土） 1日間
少年女子	日向市	（仮称）日向市総合体育館	変更前	10/1（金）～10/5（火）5日間
			変更後	10/3（日）～10/5（火）3日間

変更理由：両市において、会場地市と競技団体が日程調整等の工夫により、会期設定当初よりも短い期間で大会が実施可能となったため。

【ソフトボール競技】

種別	会場地	競技会場	競技会会期	
成年男子	延岡市	西階公園野球場	変更前	9/27（月）～9/29（水）3日間
			変更後	9/27（月）～9/28（火）2日間

変更理由：会場地市と競技団体との日程調整等の工夫により、会期設定当初よりも短い期間で大会が実施可能となったため。

【ラグビーフットボール競技】

種 別	会場地	競技会場	競技会会期	
成年男子	宮崎市	ひなた総合運動公園ひなた陸上競技場	変更前	10/2（土）～10/3（日）2日間
			変更後	10/4（月）～10/5（火）2日間
変更前			10/4（月）～10/5（火）2日間	
変更後			10/2（土）～10/3（日）2日間	
女子				

変更理由：成年男子は、所属するチームの事情を考慮し、土曜日・日曜日以外で大会を実施することとなったため。

【馬術競技】

種 別	会場地	競技会場	競技会会期	
全種別	綾町	綾馬事公苑	変更前	9/19（日）～9/23（木）5日間
			変更後	9/19（日）～9/22（水）4日間

変更理由：会場地町と競技団体との日程調整等の工夫により、会期設定当初よりも短い期間で大会が実施可能となったため。

【今後のスケジュール（予定）】

令和8年1月20日 第11回競技運営専門委員会において審議。
 2月 4日 第18回常任委員会において審議。
 3月 3日 国民スポーツ大会委員会において審議。
 （上記終了後）関連資料HP等の修正・公表。

正式競技(会期前実施競技)

競技	種別	市町	会場	競技日数	9月																			
					9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木					
水泳	競泳	全種別	宮崎市	バーソルアクアパーク宮崎	3																			
	飛込	全種別	熊本市	熊本市総合屋内プール アクアドームくまもと	3		●	●	●															
	水球	全種別	宮崎市	バーソルアクアパーク宮崎	4				●	●	●	●												
	アーティスティックスイミング	少年女子	宮崎市	バーソルアクアパーク宮崎	1		●																	
	オープンウォータースイミング	全種別	延岡市	須美江海水浴場特設会場	1				●															
ローイング	全種別	小林市	(仮称)小野湖特設ローイング競技場	4			●	●	●	●														
バレーボール	ビーチバレーボール	全種別	日向市	お倉ヶ浜海岸特設会場	4	●	●	●	●															
体操	競技	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	4	●	●	●	●															
	新体操	全種別			2													●	●					
	トランポリン	全種別	小林市	(仮称)健幸のまちづくり拠点施設	1	●																		
馬術	全種別	綾町	綾馬事公苑	4																●	●	●	●	
ライフル射撃	50m	全種別	宮崎市	宮崎県ライフル射撃競技場	4		●	●	●	●														
	10m・AP	全種別		宮崎県ライフル射撃競技場	4		●	●	●	●														
	BR・BP	全種別		宮崎市田野体育館	3		●	●	●															
	CFP	成年男子		宮崎県警察学校射撃場	3		●	●	●															
カヌー	スラローム	全種別	鹿児島県	湧水町の瀬特設カヌー競技場	2			●	●															
	ワイルドウォーター	全種別	湧水町		2		●			●														
ゴルフ	全種別	成年男子	宮崎市	宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部	3						●	●	●											
		女子	宮崎市	宮崎カントリークラブ	3						●	●	●											
		少年男子	宮崎市	ハイビスカスゴルフクラブ	3						●	●	●											
トライアスロン	全種別	宮崎市	みやざき臨海公園特設会場	1																●				

※全種別(成年男子、成年女子、少年男子、少年女子)

特別競技

競技	種別	市町	会場	競技日数	9月					10月													
					26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水								
高等学校野球	硬式	—	日南市	天福公園野球場	3					●	●		●										
	軟式	—		日南総合運動公園野球場 南郷中央公園野球場	3						●	●		●									

公開競技

競技	種別	市町	会場	競技日数	競技日程
綱引	全種別	日南市	日南総合運動公園多目的体育館	2	8月21日(土)~8月22日(日)
ゲートボール	全種別	都城市	都城運動公園陸上競技場	2	9月11日(土)~9月12日(日)
武術太極拳	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	2	8月28日(土)~8月29日(日)
パワーリフティング	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	3	9月3日(金)~9月5日(日)
バウンドテニス	全種別	都城市	早水公園体育文化センター	2	8月28日(土)~8月29日(日)
エアロビック	全種別	木城町	木城町体育館	2	8月21日(土)~8月22日(日)

日本のひなた宮崎 国スポ 競技会会期 <市町村別>

【正式競技、特別競技】

市町村	競技	種別	会場	競技 日数	2027年 競技会会期												
					9月					10月							
					26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水		
宮崎市	テニス	全種別	ひなた TENNIS PARK MIYAZAKI	4	●	●	●	●									
	ハンドボール	成年男女	宮崎市佐土原体育館	2						●	●						
			宮崎市清武体育館	1							●						
		少年男女	宮崎市総合体育館	5						●	●		●	●			
			宮崎市佐土原体育館	3							●	●					
		宮崎市清武体育館	2							●	●						
	自転車	トラックレース	全種別	ひなたペドローム宮崎	4				●	●	●	●					
	ソフトテニス	少年男女	全種別	宮崎市生目の杜運動公園テニスコート	2		●	●									
	卓球	全種別	宮崎市総合体育館	5	●	●	●	●	●								
	ソフトボール	成年女子	全種別	宮崎市清武総合運動公園 SOKKENスタジアム・第2野球場	3		●	●	●								
	ラグビーフットボール	7人制	成年男子	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場	2										●	●	
女子				2										●	●		
	15人制	少年男子	ひなた宮崎県総合運動公園ラグビー場	4						●	●		●	●			
空手道		全種別	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館	3						●	●		●	●			
ボウリング	全種別	全種別	宮崎エースレーン	5					●	●	●	●	●				
都城市	総合開会式				◎												
	総合閉会式		KUROKIRI STADIUM														◎
	陸上競技	全種別	KUROKIRI STADIUM	5						●	●	●	●	●			
	バレーボール	6人制	少年男子	早水公園体育文化センター	4		●	●	●	●							
	バスケットボール		成年男子	早水公園体育文化センター	4						●	●	●	●			
成年女子			早水公園体育文化センター	4						●	●	●	●				
			高崎総合公園総合体育館	1							●						
ソフトテニス	成年男女	全種別	都城運動公園庭球場	2				●	●								
延岡市	バレーボール	6人制	成年女子	アスリートタウン延岡アリーナ	4		●	●	●	●							
	軟式野球		成年男子	西階公園野球場	4						●	●	●	●			
	柔道	全種別	全種別	アスリートタウン延岡アリーナ	3						●	●	●				
	ソフトボール	成年男子	全種別	西階公園野球場	2		●	●	●								
日南市	バレーボール	6人制	成年男子	日南市北郷体育館	4		●	●	●	●							
	レスリング	全種別	全種別	日南総合運動公園多目的体育館	4						●	●	●	●			
	セーリング	全種別	全種別	日南市大堂津特設セーリング会場	4	●	●	●	●								
	高等学校野球	硬式	—	天福公園野球場	3					●	●		●				
	軟式	—	日南総合運動公園野球場 南郷中央公園野球場	3						●	●		●				
小林市	バレーボール	6人制	少年女子	(仮称)健幸のまちづくり拠点施設	4		●	●	●	●							
	ウエイトリフティング	全種別	全種別	小林市文化会館	5					●	●	●	●	●			
	カヌー	スプリント	全種別	(仮称)小野湖特設カヌー競技場	4					●	●	●	●	●			
日向市	バスケットボール	少年男子	(仮称)日向市総合体育館	5						●	●	●	●	●			
		少年女子	(仮称)日向市総合体育館	3						●	●		●	●			
		宮崎県立日向高等学校体育館	2						●	●							
	軟式野球	成年男子	全種別	お倉ヶ浜総合公園野球場	3						●	●		●	●		
ソフトボール	少年男子	全種別	お倉ヶ浜総合公園	3		●	●	●									
	少年女子	全種別	野球場・運動広場・第2多目的広場	3		●	●	●									
串間市	自転車	ロードレース	全種別	串間市特設ロードレースコース	1								●				
	弓道	近的	全種別	串間市総合運動公園特設弓道会場	4			●	●	●	●						
		遠的	全種別	全種別	3			●	●	●							
西都市	サッカー	少年女子	全種別	清水台総合公園多目的広場	4		●	●	●	●							
	軟式野球	成年男子	全種別	西都原運動公園野球場	2						●	●					
えびの市	ボクシング	全種別	全種別	えびの市民体育館	5						●	●	●	●	●		
三股町	銃剣道	全種別	全種別	三股町武道体育館	3		●	●	●								
高原町	アーチェリー	全種別	全種別	高原町総合運動公園多目的芝生広場	3						●	●	●				
国富町	フェンシング	全種別	全種別	アリーナくにとみ	4						●	●	●	●			
綾町	サッカー	成年男子	綾錦原サッカー場	3		●		●	●								
			綾小田爪多目的競技場	2		●	●										
	ハンドボール	成年男女	全種別	綾てるはふれあい広場	2		●	●									
高鍋町	軟式野球	成年男子	綾てるはふれあい広場	5						●	●	●	●	●			
			高鍋総合運動公園MASUDAスタジアム	2							●	●					
	バドミントン	全種別	全種別	井上スポーツセンター高鍋町総合体育館	4	●	●	●	●								
新富町	サッカー	少年男子	新富町フットボールセンター	2		●	●										
			いちご宮崎新富サッカー場	3		●		●	●	●							
			(仮称)富田浜公園	3		●	●	●	●								
木城町	スポーツ クライミング	リード	全種別	木城町体育館スポーツクライミング特設会場	3						●	●	●				
		ボルダダー	全種別	木城町体育館	3						●	●	●				
川南町	軟式野球	成年男子	全種別	川南町運動公園野球場	2						●	●					
都農町	ホッケー	全種別	全種別	都農町藤見公園	5						●	●	●	●	●		
門川町	軟式野球	成年男子	全種別	門川浜総合公園野球場	2						●	●		●			
	ソフトボール	成年男子	全種別	門川浜総合公園野球場	3		●	●	●								
美郷町	バスケットボール	少年女子	全種別	美郷町北郷総合交流センター	2						●	●					
高千穂町	剣道	全種別	全種別	高千穂町武道館	3							●	●	●			
日之影町	なぎなた	全種別	全種別	日之影町立日之影中学校体育館	3						●	●	●				
五ヶ瀬町	相撲	全種別	全種別	五ヶ瀬町総合公園G-パーク 五ヶ瀬ドーム	3						●	●	●				

日本のひなた宮崎 障スポ（第26回全国障害者スポーツ大会） 競技別会期（案）

式典	会場地 市町村	会場	競技 日数	10月		
				23 土	24 日	25 月
開会式	都城市	KUROKIRI STADIUM	-	◎		
閉会式						◎

【正式競技】

競技	障害区分	会場地 市町村	会場	競技 日数	10月			
					23 土	24 日	25 月	
個人 競技	陸上競技	身体	都城市	KUROKIRI STADIUM	3	○	○	○
		知的						
	水泳	身体	宮崎市	パーソルアクアパーク宮崎	2	○	○	
		知的						
	アーチェリー	身体	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場	1		○	
	卓球 (サウンドテーブルテニス含む)	身体	宮崎市	宮崎市総合体育館 宮崎市中央公民館	2	○	○	
		知的						
		精神						
フライングディスク	身体	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園 ひなた陸上競技場	3	○	○	○	
	知的							
ポッチャ	身体	都城市	早水公園体育文化センター	2	○	○		
ボウリング	知的	宮崎市	宮崎エースレーン	2	○	○		
団体 競技	バスケットボール	知的	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	2	○	○	
	車いすバスケットボール	身体	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	2	○	○	
	ソフトボール	知的	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園運動広場	2	○	○	
	ブラインドベースボール	身体	日向市	お倉ヶ浜総合公園運動広場	2	○	○	
	バレーボール	身体	都城市	早水公園体育文化センター	2	○	○	
		知的	日南市	日南市北郷体育館	2	○	○	
		精神	小林市	(仮称) 健幸のまちづくり拠点施設	2	○	○	
	サッカー	知的	新富町	新富フットボールセンター いちご宮崎新富サッカー場	3	○	○	○
フットソフトボール	知的	延岡市	西階公園補助グラウンド	2	○	○		

日本のひなた宮崎 障スポ 正式競技 開催予定施設の変更（案）

第26回全国障害者スポーツ大会正式競技会場地市町村第2次選定（令和3年7月5日第8回常任委員会決定事項）において選定したバレーボール競技（知的）の開催予定施設を、次のとおり変更する。

※下線部：変更箇所

番号	競技	障がい種別	市町村	開催予定施設	
				変更前	変更後
1	バレーボール	知的	日南市	<u>日南市北郷体育館</u>	<u>日南総合運動公園</u> <u>多目的体育館</u>

日本のひなた宮崎 障スポ オープン競技 開催予定施設の変更（案）

第26回全国障害者スポーツ大会オープン競技会場地1次選定及び2次選定（令和6年9月4日 第14回常任委員会決定事項）において選定した卓球バレー競技の開催予定施設を、次のとおり変更する。

※下線部：変更箇所

番号	競技	障がい種別	市町村	開催予定施設	
				変更前	変更後
1	卓球バレー	身体的精神	宮崎市	<u>宮崎市佐土原体育館</u>	<u>ひなた宮崎県総合運動公園</u> <u>ひなた武道館</u>